

FFG 調査月報

MONTHLY REPORT



一步先を行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

7

2025
VOL.173

Top Interview

株式会社 福岡魚市場 代表取締役社長 川端 淳 氏

株式会社 ベルネット(オートベル) 代表取締役社長 井上 寿男 氏

ハウステンボス 株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO 高村 耕太郎 氏



今月の

表紙

熊本銀行

合志支店・合志ローンセンター

今月の表紙になった支店をご紹介します!



堀江 まこ (ほりえ・まこ)

2024年入行
(合志支店2年目)
FC担当

■趣味: ドラマ鑑賞
■休日の過ごし方: カフェ巡り、ドライブ



村中 美友 (むらなか・みゆう)

2005年入行
(合志ローンセンター1年目)
ローンセンター統括

■趣味: 旅行、舞台鑑賞、スポーツ観戦
■休日の過ごし方: カフェ巡り、野球部の活動(熊本銀行野球部マネージャー)

私たちが
お答えします!

Q

合志支店・合志ローンセンターの特徴は?

堀江 合志支店は比較的天井が高く、開放的な空間でお客さまをお迎えしています。また、ATM来客数は熊本銀行の全支店の中でもトップクラスです。

村中 合志ローンセンターの建物は、SDGsの取り組みの一環として熊本銀行初のZEB(※1)対応で環境に配慮しており、BELS(※2)認証において最高ランクを取得しています。2025年4月には、Spring Garden MIYOSHII内に「合志ローンセンター御代志プラザ」を開設しました。こちらが銀行初の試みとなる、地元企業の「SOUP LAB」とのコラボ店舗となっています。



合志ローンセンター



合志支店



合志ローンセンター御代志プラザ

(※1) ZEB(Net Zero Energy Building): 環境省が推進する環境配慮建築物
(※2) BELS(Building-Housing Energy-efficiency Labeling System): 建築物の省エネルギー性能に特化した評価・表示制度

Q

合志はどんなところ?

堀江 合志は医療費が18歳まで無料で、子育てがしやすい街だと思います。「住みよさランキング2024」では全国5位に選ばれました。また、合志市と熊本市を結ぶ電車(熊本電鉄)があり、外側も内側も「くまモン」で溢れている「くまモンラッピング電車」が走っています。



くまモンラッピング電車



Q

合志のおすすめスポットは?



熊本県農業公園

堀江 カントリーパークと呼ばれる「熊本県農業公園」がオススメです! 季節によって異なるイベントがあり、直近ではバラ祭りが開催されていました。たくさん種類のバラを見ることができ、綺麗なバラに心が癒されます。展望台からの眺めも最高に素敵です。

村中 約20,000冊のマンガが読み放題で、貴重なマンガ資料や昔の雑誌がズラリと並んだ展示・閲覧室がある「合志マンガミュージアム」です。熊本銀行もスポンサーになっており、スポンサードコーナーには「お金」に関する知識やビジネスの基本を楽しく学べる作品がそろっています。



「合志マンガミュージアム」スポンサーコーナー(写真左)・ドラえもん特集(写真右)





前列左3人目から柴田センター長(合志ローンセンター)、穴井支店長(合志支店)

Q 合志の名物は？

堀江 「コーヤ万十」のいきなり団子です。中に入っているあんことおイモが本当に甘く、少し塩味を感じるもちもちとした皮との相性が抜群です。



「コーヤ万十」のいきなり団子

Q 今日のお昼ご飯は？

堀江 「獅子王」の五目ヤキソバです。出来立て熱々のあんが麺と絡み、美味しさのあまりあつという間に食べ終わってしまいます。

村中 御代志プラザ近くにあるレストラン「オリオン」の日替り定食です！お昼はオープンとともに満席になる地元民から愛される人気店です。味はもちろん、ボリュームたっぷりコスパ最強です！



「オリオン」の日替り定食



「獅子王」の五目ヤキソバ

読者にメッセージをお願いします。

堀江 お客さまや地域のニーズを発見し、真のゆたかさをご提供できるように一生懸命頑張ります。美味しい食べ物もあり、自然も感じられる合志でお待ちしております。

村中 御代志プラザはカフェを併設したコラボ店舗です。お近くに来られた際は、ぜひ美味しいコーヒーを飲みにご来店ください☆



熊本銀行 合志支店・合志ローンセンター

住所：熊本県合志市幾久富1758-292

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

南の島の水族館



▲「熱帯魚の海」を泳ぐナポレオンフィッシュ(メガネモチノウオ)



▲水族館近くにある「亀の涙」



●沖縄美ら海水族館

住所：
沖縄県国頭郡
本部町石川424



館の起源は50年前に沖縄県の日本復帰記念事業として開催された沖縄国際海洋博覧会まで遡る。2002年に新館が建設され「沖縄美ら海水族館」(※)として再スタートした。南国の花々が咲く広大な敷地を歩いて行けば、ジンベエザメのモニュメントが待つ入口や、青いサンゴの海が広がる下りエスカレーターからの眺めに、気分はさらに高揚する。

館内では今まで見たことがない南洋の魚たちが出迎えてくれる。薄暗い通路の先に突如現れる「黒潮の海」と名付けられた巨大な水槽を泳ぐジンベエザメやマンタの群れ：魚の大きさはもちろん、種類の多さに圧倒される。あちこちから聞こえる「おー!」「すごー!」の声。想像を超えるものを目にした時、老若男女問わず溢れる言葉は誰もが短い。

※沖縄国際海洋博覧会のパビリオンであった海洋生物園は、博覧会後1976年に沖縄記念公園水族館として開館、その後老朽化に伴いリニューアルされ名称も新たに再スタートした。

(文・阿井川 圭)

今後のより良い誌面作りの参考とさせていただきます。アンケートのご協力をお願い致します。



<https://prod.qlr.jp/tlmtwdxg>

今月の表紙

熊本銀行

合志支店・合志ローンセンター

- 2 懐かしい情景を探して
南の島の水族館

Top Interview

- 4 福岡銀行
株式会社 福岡魚市場 代表取締役社長 川端 淳 氏
- 10 熊本銀行
株式会社 ベルネット(オートベル) 代表取締役社長 井上 寿男 氏
- 16 十八親和銀行
ハウステンボス 株式会社 代表取締役 社長執行役員 CEO 高村 耕太郎 氏
- 22 地域とつながるFFG連携プロジェクト
域外への特産品販路拡大支援「熊本・合志マルシェ」および
熊本と台湾の文化交流イベント「台熊祭々 2025 in 合志市」の開催
- 24 Interview Before After
株式会社 KOTANI 代表取締役 藤本 博 氏
- 30 九州の逸品
株式会社 アベックスコーポレーション 代表取締役 梶原 龍太 氏
(ひろせ食堂)
- 36 海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今
大連
- 39 お城巡り
北海道・東北編②
- 40 九州企業のサステナビリティ
株式会社 ゼンケイ 代表取締役社長 上笹貫 祥寛 氏
イケショウ 株式会社 代表取締役 池松 勝 氏
平井技研工業 株式会社 代表取締役 平井 聡 氏
- 48 地銀9行連携レポート 千葉銀行
房総をつなぐ、
「房総横断鉄道 たすきプロジェクト」
- 52 編集部のオススメ
SOUP LAB
- 54 長崎だより
東京から、小さな港町へ



バックナンバーの
お知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。





 福岡銀行

創業から百二十余年。
大都市福岡の食卓を
支える続ける魚市場。

株式会社福岡魚市場
ふくおかうおいちば

代表取締役社長

川端 淳氏
かわばたじゅん

取引店／福岡銀行 中央市場支店

■会社概要

創業:1892年／設立:1963年／所在地:福岡市中央区／資本金:1億円／従業員:115名(2024年11月現在)／事業内容:水産物卸売業(生鮮魚介類の集荷・せり販売・相対販売)、水産物およびその加工品の販売受託、水産物およびその他食料品の販売・加工ならびに輸出入／子会社:株式会社フクショク、九州活魚センター株式会社、福岡水産荷役株式会社、株式会社フクカン、エフ・オー・ティー株式会社／関連会社:福岡冷蔵株式会社、福岡水産物取引精算株式会社 他

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





事務所内(左から川端社長、五島頭取)

株式会社組織による 最初の魚市場として発足

福岡魚市場の歴史は1892年に福岡県魚市場規制に基づく公認市場として、「博多魚市株式会社」が設立されたことに始まりま
す。これは、わが国最初の公認市場であり、株
式会社組織による初めての魚市場として、近
隣多数の鮮魚問屋を傘下に単一会社として
設立されたものです。

1933年に市場単数制への県規則改正に
伴い、1901年に設立された株式会社博多
魚市場と博多魚市株式会社が合併し、新たに
「株式会社福岡魚市場」が設立されました。さ
らに戦時中の1943年には、近隣市場を吸収
し、「福岡魚類配給株式会社」へと商号変更。
翌1944年、統制会社令によって「福岡魚類
統制株式会社」に参加することになりました。
そして、終戦後の1946年に商号を変更

し、「福岡水産物株式会社」となりますが、翌
1947年には、福岡県下の32市場が大同団
結し「株式会社福岡魚市場」が設立され、そ
の後「福岡県魚市場株式会社」に名称変更さ
れました。現会社はその福岡支店として主導
的役割を果たしていました。

1955年に福岡市中央卸売市場が開場
すると、それに伴い鮮魚部卸売人として入場
し、1963年には福岡県魚市場株式会社か
ら福岡支店を分離する形で新たに「株式会社
福岡魚市場」が設立されました。同年、福岡
市中央卸売市場鮮魚部卸売人として農林大
臣より卸売業務の認可を受け、福岡県魚市場
株式会社から営業権を継承したのです。

長年にわたる歴史と実績は、全国各地の取
引先との堅い絆と、西日本における基幹集散
市場としての地位をもたらしたといえます。

地の利を最大限に活かして 市場としての機能を発揮

国指定の特定第三種漁港である当市場は、
東シナ海、黄海、五島、対馬、有明海など、西
日本有数の好漁場をエリアとする「生産地市
場」として知られています。

またその一方で、九州を代表する一大消費
地である福岡市の地の利を生かし、加工品な
ども扱う全国有数の「消費地市場」としての
役割も担っています。日本全国はもとより、世
界各国から鮮魚、冷凍加工品が次々と運び込
まれ、数百種におよぶ取扱品が、漁場からは





川端社長

船で、産地からはトラック便、航空便で搬送されています。

日本国内の中央卸売市場は、東京、横浜、名古屋、大阪、京都など大都市圏にあります。が、東京の市場が築地から豊洲に移って以降、当市場のように都市部にありながら、生産地市場と消費地市場の役割を同時に果たせる市場は他に類を見ないといえるでしょう。

魚市場というと、「せり」による市場内販売を思い浮かべる人も多いかと思いますが、取り扱う物によっては、取引先と一対一であらかじめ価格や数量を取り決めて取引を進める「^{あいたい}相対売買」もおこなっています。

また、当市場は水産物の専門商社としての役割も担い、海外からの買い付け・販売をはじめとして、全国の卸売業者や加工業者を対象に、広域取引を展開しており、海洋資源のあらゆる分野における新商品の企画・開発も手がけています。

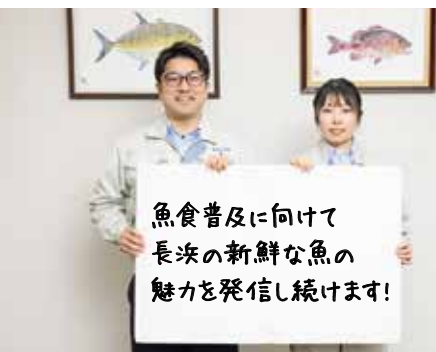
市場に隣接して

魚食普及推進施設を開設

当市場の取り組みとして最近の話題となるのが、魚食普及推進施設「うおざ」のオープンです。昨年11月に開業し初日以来、常ににぎわいをみせています。当社をはじめとする市場関係者の相互協力によって建設プロジェクトが進み、開業後は関係各社で作った会社により運営されています。

施設は約1,200平方メートルの平屋で、施設の目玉となるのが「フードホール」。全長20メートルのカウンター、グレーの壁と柱、吹き抜けの天井、かさの付いた照明器具で、せり場の活気あふれる雰囲気演出しています。

巨大なカウンターには刺身、焼きもの、揚げものが所狭しと並べられ、なかでも刺身は、隣接する魚市場から朝とれた魚を運び、刺身に



11 9



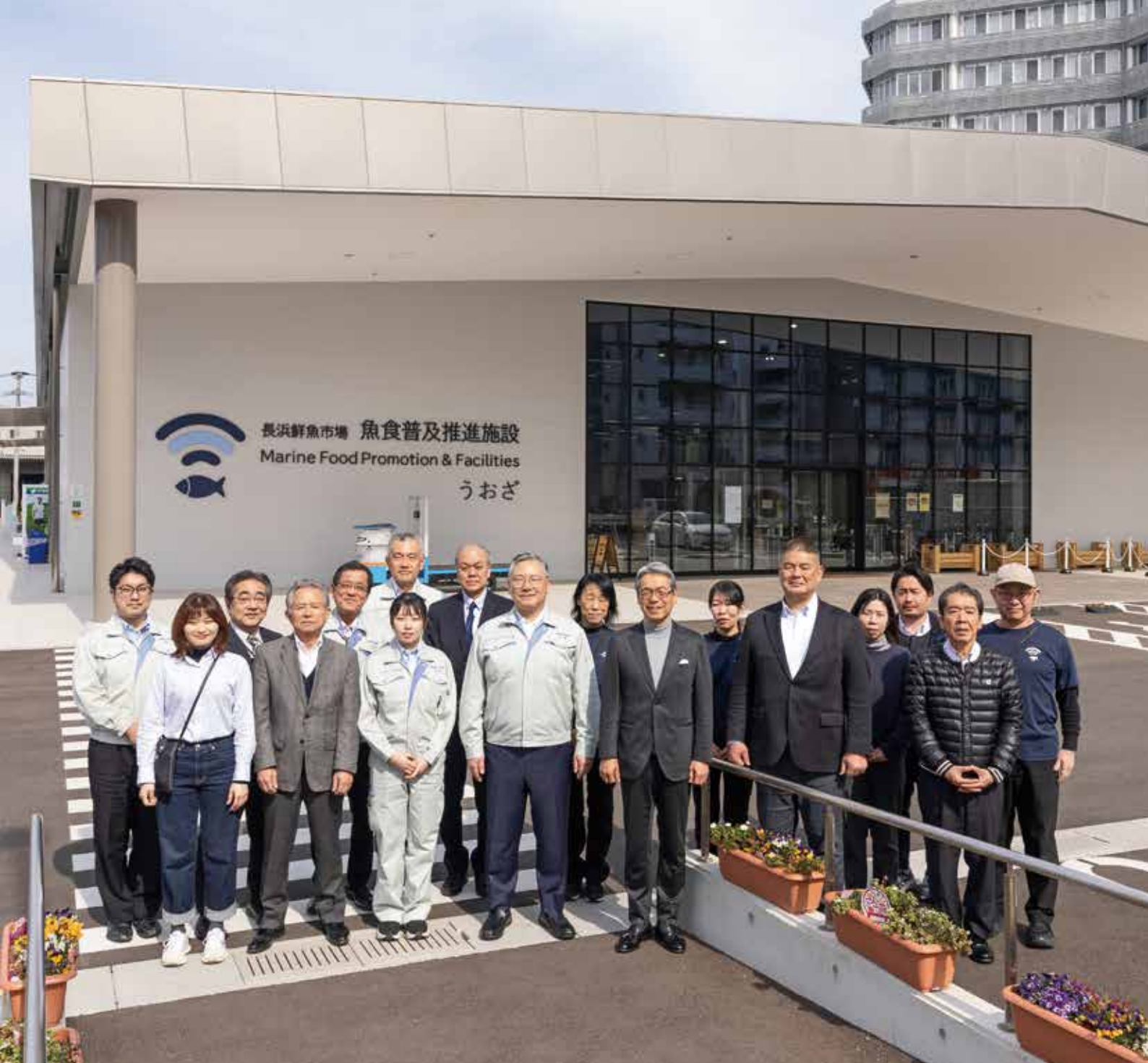
7



8



1.対談風景／2.新東冷蔵庫棟を見学／3.大容量の冷凍室／4.急速冷却・凍結で魚の鮮度を保つ装置の説明／5.うおざ店内の様子／6.鮮魚市場から運ばれた新鮮な魚がショーケースに並んでいる／7.好きなメニューを選んで食べることができる／8.新鮮な海の幸を実食／9.うおざ内の物販コーナーでは水産加工品も販売している／10.うおざ併設の「海の国」では落ち着いた雰囲気のバーカウンターや個室がありさまざまなシーンに合わせて利用できる／11.企業メッセージ



前列左4人目から川端社長、五島頭取、武藤支店長(福岡銀行)

して提供するため、鮮度は抜群です。単品や盛り合わせの刺身のほかに、イカの沖漬け、ネギトロといった小鉢の加工品などに加え、日によつてはウニやキンメなどの高級魚、ウツボなどの珍しい魚が並ぶこともあつて、訪れるたびに新たな体験ができる魅力があります。来場者は、120席以上ある客席で新鮮な魚を味わえます。現在は完全予約制ですが、コース料理を中心とした会場「海の国」も設けています。

私たちは当施設を、「食べる」「知る」「買う物する」を基本理念として、「魚食普及推進」を目的に開設しました。

たとえば、焼き魚ひとつをとっても、アジやカマスの丸焼きを提供していますが、丸々一匹で提供する理由のひとつには、「焼き魚の食べ方を覚えていただきたい」という願いが込められています。

また物販コーナーでは、厳選された冷凍・冷蔵食品、缶詰などの手軽に調理できる商品、魚料理に合う調味料も取り揃えています。350種類以上の水産加工品を販売することと、さまざまな水産事業者の取り組みを知っていただくきっかけにできたらと考えています。

さらには、魚のプロから刺身のつくり方を習える体験教室の実施など、魚食ファン拡大に向けたイベントにも力を入れていく予定です。

自分たちができることをひとつずつ

私たちが魚食ファン増加と消費拡大を目指す背景には、全国的な魚食の減少傾向という課題があります。当市場だけをみても、水産物総取扱量は近年6万トン前後であり、1996年度の23万トンを超えた時と比較すると、激しい落ち込みといわざるをえません。日本全体でも1984年がピークとされ、その後急激な減少が続いている状況です。

このような漁獲量減少の要因は複合的なもので、気候変動による海水温の上昇、環境汚染、国際的な取り決めによる漁場の変化、国内漁業従事者の減少などが挙げられます。

これらの要因の根本的解決に向けた対策は容易ではありません。時間もお金もかかりますし、到底一企業、一団体の力でどうにかできるものでもありません。それでも、自分たちができることを今からひとつずつ積み重ねて

いかなければなりません。

当市場では、食品の冷凍・冷蔵倉庫業を営む会社を関連事業者として抱えています。現在、多くの冷凍・冷蔵機器の冷媒として使用されているフロンは、オゾン層破壊の原因として国際的に削減の対象となり、日本においても法制度が制定・改定されています。国内にある営業冷蔵倉庫の約半数は築30年以上が経過しているという国交省の報告もあり、フロンへの対策と老朽化への対応のために、2030年には冷凍・冷蔵倉庫の供給が不足するともいわれています。

そこで、関連事業者である福岡冷蔵株式会社では、今年4月に新東冷蔵庫棟の稼働を開始しました。水揚げの減少という事態に対応するため、加工施設としての役割も発揮し、生産と保管という両面での付加価値を持たせることで市場の拡大を図ります。

今後の魚食普及推進の取り組みに向けて、資金調達や情報収集などあらゆる面でこれまでお世話になっていた福岡銀行を始めとする地域の金融機関ともがっちりスクラムを組んで、総力戦で未来を拓く事業に取り組んでまいります。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久



当市場は、「生産地市場」と「消費地市場」双方の役割を担う他に類を見ない市場として、長年地域の食を支えてきました。食文化が多様化する時代にありながら、「まだまだ新しい食文化が広がっていく可能性を感じる」と話される川端社長の言葉には、魚食普及推進への並々ならぬ思いを感じます。昨年11月にオープンした魚食普及推進施設「うおざ」は、魚食ファン増加と消費拡大を通じて、地域の魚食文化を広める重要な取り組みです。

鮮度を保ち、味わい深い旬の商品を速やかに消費者に届ける姿勢を貫きながら、社会課題の解決にも挑戦し続ける福岡魚市場の“これから”に注目が集まります。



トップに聞く!

 熊本銀行

「新車のような中古車」

消費者マインドをくすぐる広告戦略と
サステナブルな接客で躍進。

株式会社ベルネット

(オートベル)

代表取締役社長

いのうえ としお

井上 寿男氏

取引店／熊本銀行 白山通支店

福岡銀行 熊本営業部

十八親和銀行 熊本支店

■会社概要

創業:1996年／所在地:熊本市南区／資本金:
5,000万円／従業員:55名／事業内容:中古自動
車販売、新車販売、自動車整備、保険／店舗:
オートベル東バイパス店(熊本市東区)、オート
ベル浜線バイパス嘉島店(熊本県上益城郡嘉島
町)、オートベルサンロードシティ人吉店(熊本県
球磨郡錦町)

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





オートベル東バイパス店(左から井上社長、坂本頭取)

アルバイトから番頭へ 成長する自動車業界とともに

自動車との出会いは高校生の頃で、当時のイマムラオート（現…モビリティタウン熊本）にアルバイトで入りました。最初は洗車などの雑用でしたが、車を洗いながらお客さまとお話するようになり、そのうち土日や新春の初売りなどにも出社。販売を含めて営業のお手伝いをするようになりました。バイクも好きで、その費用を捻出するために頑張っていた状況です。大学は夜間の二部に進み、昼間はそのアルバイトを続け、そのまま卒業後も働くことになりました。

それから38歳で独立するまで、長年イマムラオートにお世話になりました。最初は10人程度の会社でしたが私が辞める頃には100人ほどの会社に成長していました。これには、一般のお客さまであっても自動車ローンを組めるようになり、誰もがマイカーを持てる時代になったという背景もありました。会社が成長する中で仕入れ、広告、企画、事務関係のルールづくりまで全て任せていただきました。

私自身も「忠実な番頭」という思いを持って、経営側、社員側それぞれの立場を理解するポジションで、会社の成長に貢献できたのではないかと思います。

38歳で独立、創業 ショッピングセンターでの 展示販売が大ヒット

イマムラオートでは統括部長、分社した会社の社長も任されていたこともあり、独立する気持ちはまったくありませんでした。ただ、28歳で結婚をし、38歳になってひと区切りがついた気持ちがあったのだと思います。転職も視野に考えていたところ、ショッピングセンター「サンリブシティくまなん」（以下…サンリブくまなん）からお声を掛けていただきました。サンリブくまなんは1993年にオープンしており、独立する2〜3年前からお付き合いがあったのですが、「セントラルコートを利用して自動車の企画を考えてくれないか」とご相談があったのです。そこで『サンリブシティくまなんの新車のような中古車市』という



1



3



5



4



6



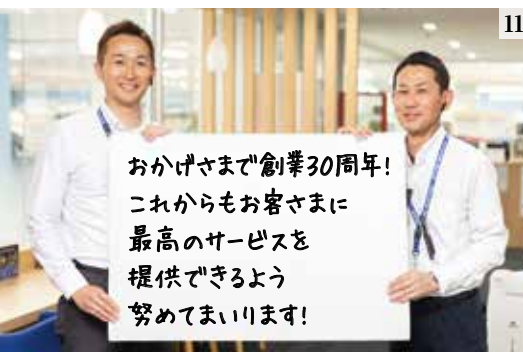


井上社長

キャッチフレーズでやってみてはどうでしょうか」という発想がポロツと生まれたのです。今は未使用車とも呼ばれていますが、当時は「新古車」という言葉で走行距離1万km未満の新車と同じ中古車がファミリー層を中心に非常に人気でした。ショッピングセンターの客層とも合致していることもあり、展示は7〜8台だったにもかかわらずひと月に25台も売れるという、当時の中古車市場では信じられない売り上げとなったのです。ダイハツやスズキなどのディーラーにご協力いただき展示車も次々とご用意いただくなど、このイベントは15年にもわたって人気となりました。

サンリブくまなんでの展示をきっかけに、1996年に創業。この成功を足掛かりに、次にお声をかけていただいたのはイオングループでした。当時のダイヤモンドシティ熊本南(現・イオンモール宇城)の駐車場の空きスペースで常設の展示販売をするお話をいただきました。こちらでも大変好調な売れ行きを記録しています。同時に各地のショッピングセンターでのイベントも多数行いながら、現在は「オートベル」の名称で、西日本最大級の屋内展示場を持つ東バイパス店、浜線バイパス嘉島店、サンロードシティ人吉店の3店舗を展開しています。

当社の強みは、なんともいっても「新車のような中古車」のキャッチフレーズに代表される走行距離1万km未満の未使用車を取り扱うことです。これは、「安いのならちよつと見てみよう」という消費者の潜在的なマインドに響きます。ディーラーが「絶対的」なお店であるのならば、私たちは「とりあえず」のお店。だからこそ、ショッピングセンターという親しみある場所の名前と組み合わせ、お客さまの心をちよつとだけでなくすぐる広告戦略が強みになったのです。



11 9



10



7



8



1.対談風景／2.3.4.5.オートベル東バイパス店を見学／6.販売車に試乗し記念撮影／7.東バイパス店スタッフと談笑／8.オートベル東バイパス店／9.オートベル浜線バイパス嘉島店／10.オートベルサンロードシティ人吉店／11.企業メッセージ



前列左2人目から井上社長、坂本頭取、園田支店長(熊本銀行)

納車をしてからが始まり サステナブルな接客を目指す

私の好きな言葉の一つに「サステナブル」があります。いわゆる持続可能という意味ですが、自動車の販売においても継続性のある接客を続けています。私たちが心がけているのは、「納車をしてからが始まり」ということ。納車後にも車検や修理、買い替えなどお客さまとのつながりは続きます。その持続性こそが、当社の成長に大きく関わっているのです。

半年ごとの社員の査定も、販売台数だけの評価ではありません。車両販売、保険、ローン、買取、車検、修理などの項目で、いかにリピートできているかを点数で加算していきます。例えば私の場合はリピーターとして30年のお付き合いがあるお客さまがいます。その方が車検や買い替えでご利用されることで、今でも入社数年の営業よりも査定評価が高くなっています。逆に、車両販売しかしていない社員は、どんなに台数を売ってもリピーターにつなぐていなければ査定評価としては低いことになります。

その根底には、「ただ自動車売るだけのお店でありたくない」という思いがあります。実際に修理は工場が、書類は事務職が担当するのですが、営業担当が一人一人のお客さまをずっと見守り、丁寧に対応する姿勢を身につけていくことが、会社全体の信頼につながっていくことを社員には伝えていきます。

事業承継を見据え 多角的経営も展開

昨今、新車が半導体不足などで販売ができない状況が続き、中古車市場が盛況のように言われます。しかし、私は新車と中古車は相反するものではなく、常に同じベクトルにあると考えています。新車が不足すれば、いずれは中古車も不足します。当社はこれまでダイハツなどの販売代理店も兼務してきましたが、やはりディーラーも販売代理店があるからこそ売れるわけですし、その新車があるから中古車が生まれます。中古車市場だけを見るのではなく、自動車業界全体の動向を見ながら、時代に対応していかなければならないと考えています。

実は、自動車に関する事業については、家族への承継を考えていません。適切な企業と連携するなど事業承継を考えています。自動車の事業は、私が好きで一人で立ち上げたもので、私の一代で終わらせることがベストと考えています。本事業を守ってくださる、社員を守ってくださる、適切な企業と連携したいと考えています。

当社グループとしては、不動産事業や太陽光事業にも力を入れてきました。太陽光事業は、自動車事業に何かがあったときの保険のようなものであり、不動産事業については私の家族の資産として残すつもりです。太陽光事業は熊本県内に太陽光パネルを設置し100億を超える投資を行っています。不動産事業については、現在1,300室を管理しており、こちらは熊本を中心に東京や福岡、沖縄、鹿児島などにも展開しています。

2026年で創業30周年を迎えます。お客さまに向けてはプレ記念として、すでに「3」をキーワードにしたイベントを開催しています。しかし、会社として特別なイベントをする予定はありません。全てはお客さまに還元したいと考えています。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



中古車販売において西日本地区でもトップクラスの規模を誇っておられます。創業時から消費者のマインドに訴えるキャッチコピーなどの斬新な発想のもと、確かな実績を上げてこられました。

来年には30周年を迎えられるとのことですが、事業承継をご検討されており、新しい時代に向けてのスタートを切られるのではないかと感じております。ますますのご発展に向けてお祈りいたします。



トップに聞く!

JS 十八親和銀行

「憧れの異世界。」を創出し
独自の魅力を世界へ向けて発信。

ハウステンボス株式会社

代表取締役社長執行役員 CEO
たかむら こうたろう
高村 耕太郎氏

取引店／十八親和銀行 佐世保本店営業部

■会社概要

開業:1992年／所在地:長崎県佐世保市／資本金:1億円／従業員:1,242名(2022年9月時点)
／事業内容:テーマパーク事業、ホテル事業、レストラン事業、物販事業、発電・売電等エネルギー関連事業 他

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





ハウステンボスのシンボルタワー「ドムトールン」前
(左から高村社長、山川頭取)

テーマパーク乱立期に誕生し 紆余曲折を経て生き残る

オランダの街並みを丁寧再現したテーマパークとして知られるハウステンボスは、単独テーマパークとしては国内最大級の敷地面積を誇る規模です。そのため、所在地の名称も「佐世保市ハウステンボス町」で、街そのものがテーマパークとなっています。

1992年の開園からしばらくは多くの来場者で賑わいましたが、2000年代に入って、その数は減少しました。ハウステンボスが開園した当時は日本中でテーマパークが乱立した時代でもあり、その多くが中長期的な視点のないまま開園に踏み切ったものばかりで、2009年のリーマンショックなどの逆風によって、ほとんどが閉園へと追い込まれていきました。

ハウステンボスもまた、一時期は閉園寸前の状態に陥ったものの、大手旅行業者であるエイチ・アイ・エスの出資で始まった経営再建、その後の東京、香港、シンガポールを拠点とするアジアの投資会社PAGを親会社に移しての改革があつて、現在の姿があります。

私自身は、PAGからの要請を受ける形で2023年に当社の社長に就任しました。前職

では東京ディズニーランドなどを運営するオリエンタルランドの経営戦略本部で中期戦略の立案に携わり、アトラクション開発やホテル建設、財務などの経営管理にも従事していました。大学時代は東京造形大学で工業デザインを学び、都市のランドデザインなどの「まちづくり」に対する興味をきっかけに、テーマパーク運営の世界に飛び込みました。

テーマパークを核として 地域を長期滞在型リゾートに

神戸市出身の私は進学で上京して以来、社会人になつてからも首都圏で生活してきましたので、当社に移るまでは長崎との縁はまったくありませんでした。そのため、ハウステンボスを外から見ていた時には「なぜ佐世保の地にオランダなのか？」と、不思議に感じていました。長崎の歴史を背景においた必然性だと捉えつつも、テーマパークとしてはビジネスの合理性を見出しにくいだろうなと疑問に感じるところがあったのです。

しかしながら、佐世保へ来て、地元の方々から話をうかがい、この土地の文化や歴史を知ると、私の考えは変わっていきました。ハウステンボスが誇る広大な敷地、豊かな緑とそれを取り



5



3 1



6



4 2





高村社長

巻く大村湾の水辺の景色も、大都市型テーマパークとは異なる魅力を感じさせてくれました。都市部でビジネスをするのと違い、長崎の持つ独特の文化、地形、自然、そして支えてくださっている地域の方々も含め、ここでテーマパーク事業を行う意味があるのではないかと。オランダの街並みと自然が織り成す雰囲気に入り、ゆったりとした時間のなかで思い出に残る特別な体験ができれば、もっと多くの人を魅了できるはず。ハウステンボスの魅力は、テーマパークそのものの魅力だけではなく、この土地がもつ地域の魅力と繋がっていると、私は実感しました。ホテルやレストラン事業も手がける当社であれば、この一帯を長期滞在型リゾートに変えていける可能性もあります。

当地へ来ておよそ一年半ですが、この佐世保の地でハウステンボスの魅力をさらに磨き上げて

コロナ禍でダメージを受けた観光産業を立て直し、地域を、そして日本全体の元気を取り戻していきたいという思いが日を追って増しているところです。

ミッフィーをテーマにした

世界唯一の新エリアをオープン

今後のハウステンボスの成長戦略において第一弾と位置付けているのが、開業以来最大のプロジェクトとなる「ミッフィー・ワンダースクエア」であり、本年6月21日にグランドオープンを迎えました。

ミッフィーはオランダを代表する絵本の主人公。独自のライドアトラクションを備えた世界唯一の新エリアは「ミッフィー」となきました。憧れの休日」をコンセプトに、ミッフィーと一緒に、物語の主人公になった気持ちで体験できる2種類のライド型アトラクション、常設のグリーティング施設、空間からメニューまで、かわいさがあふれるレストランやフードワゴンなどの飲食施設、3店舗の物販施設を展開します。

さらに本年秋には、全世界で8,500万部以上(※刊行された絵本やイラストの世界に没入できる屋内ウォークスルー型アトラクションの



※イメージ ©Mercis bv



1.対談風景／2.春は100万本のチューリップが満開／3.フラワーロードを抜けてテーマパークゾーンへ向かう／4.カナルクルーザー船上から美しい街並みを楽しむ／5.ハウステンボス歌劇団／6.ミッフィーオブジェとともに／7.豪華・気品に溢れるホテルヨーロッパ「レンブラントホール」／8.ワイン祭会場にて試飲談笑／9.世界にここだけ!ミッフィーエリア6.21誕生!「ミッフィー・ワンダースクエア」／10.年末恒例のカウントダウン花火の様子／11.企業メッセージ



©ハウステンボス/J-21932





前列左4人目から高村社長、山川頭取、浦佐世保本店営業部長(十八親和銀行)

オープンも控えています。

ちなみに、6月21日はミッフィーの誕生日であり、本年2025年はミッフィー誕生70周年を迎える記念すべき年です。これまでも、ミッフィーはハウステンボスを担うキャラクターでしたが、オランダ発の人気キャラクターの魅力をさらに打ち出していくために、独自のライド型アトラクションがある世界唯一の新エリアを誕生させました。

一歩足を踏み入れれば、360度ブルーナカラーがあしらわれた街並みに囲まれ、絵本やアニメーションでしか見られなかった冒険の数々に新しい感動が湧き上がるはずです。これまでにない心躍る体験をお楽しみいただける世界になっています。

※作者のディック・ブルーナ氏が創作した絵本(株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン調べ)

日本固有の歌劇文化を 海外にアピール

また、ハウステンボスには、テーマパークとしては珍しい「歌劇団」の公演があります。その名も「ハウステンボス歌劇団」。こちらも、今後に向けた成長戦略に欠かせないキーマンです。

歌劇は、いわば日本独自の文化であり、「男

装の麗人」と表現される男役を女性が演じ、優美で華麗な世界観を創り出すことで知られています。当歌劇団は2013年の活動開始以来、臨場感あふれる踊りと歌で観客を魅了し、多くのファンを生んできました。2023年にできた約1,000席の「ハウステンボス歌劇大劇場」では、毎日公演を行っております。ミューズホールでのミニレビューショーやパーク内「ホテルヨーロッパ」でのティーパーティー、ディナーショーを定期的に開催中です。お客さまとの距離の近さから、歌劇を進化させた「Live歌劇」として、観る側が演者との一体感を味わえる公演が特色となっています。

そして、当歌劇団はハウステンボス内でのパフォーマンスだけでなく、県内外の外部公演にも積極的に出演を続けてきました。さらには、創立当初から海外における芸術文化交流活動に対しても前向きな取り組みを続けてきました。日本固有の歌劇は、アニメやゲームなどの「JAPANポップカルチャー」や、サムライ、ニンジャに代表される日本文化の要素を盛り込むことができます。今後は、アジアを始めとする諸外国の方々にも当歌劇団の魅力を知っていただけるよう、海外展開も視野に入れながら活動を進めていきます。

ハウステンボスで働く喜びこそ

当事業の原動力であり強みである

最後に、ハウステンボスのこれからを語るうえで何よりも重要なのが、ここで働く人たちについてです。初めてこの場所を訪れた時、私は現場で働くホストクルーたちの熱量に目を見張りました。だれもが、ここで働くことを誇りに感じて、活き活きと、うれしそうにしている。「この土地が大好き」「ハウステンボスで働ける毎日が幸せ」という各自の思いが、私たちの活動の原動力であり、当事業の強みであることは確かです。

私が社長に就任して初めてとなる入社式では、「憧れの異世界。」を新たなブランドテーマとして掲げ、一人ひとりに「ハウステンボスを輝かせるのと同様、皆さんの人生も一緒に輝いていくことが大事」と伝えました。

経営面の危機的状況から脱して成長の軌道に乗り、新たなステージに入った今、経営の健全性を保ちつつ将来を担う人たちの夢を育みながら、輝ける地域の未来図とともに描いていけたらと思います。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

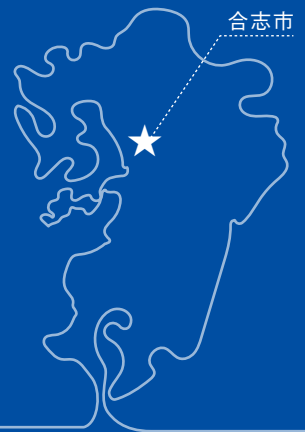


高村社長が経営の陣頭指揮を執られるようになって、2年目の春。開業以来の最大プロジェクトとなる新エリア誕生の話題に地元も沸いています。

「佐世保へ来て当地の方々との交流を深める中で、この土地の歴史や文化に対する造詣の深さとともに地域愛に溢れた素晴らしい環境であることにあらためて気づかされました」と話されていたのが印象に残りました。佐世保発、地域のランドマークであるハウステンボスが世界に通用する日本のコンテンツとして、今後益々ご発展されることを期待しています。

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、合志市との包括連携協定にもとづき行った合志市の特産品PRの場・機会の提供と台湾との文化交流のイベント開催についてご紹介いたします。



域外への特産品販路拡大支援「熊本・合志マルシェ」および 熊本と台湾の文化交流イベント「台熊祭々 2025 in 合志市」の開催



ふくぎん本店広場で開催された熊本・合志マルシェ



旬のアスパラガスのつかみどり



「KAGUYA+」の試飲会を開催



合志市の特産品を販売

合志市は、熊本市の北東部に位置し、阿蘇くまもと空港や九州自動車からの交通アクセスの良さなどの好立地を活かし、半導体関連企業の生産拠点として多くの企業が集積しています。加えて、台湾の半導体受託製造大手TSMCの菊陽町進出が決定して以降、菊陽町に隣接する合志市にも企業の進出が増加しています。また、農産業も盛んに行われており、スイカやいちご、サツマイモやアスパラガスなど多様な特産品があります。合志市と熊本銀行は、企業誘致支援や地場企業の振興等、地域社会の発展に貢献していくことを目的に2011年9月に「包括連携協定」を締結しています。その協定の一環として合志市と連携した2つの取組みをご紹介します。

はじめに、2025年4月25日(金)、26日(土)に



熊本・合志マルシェ ポスター

合志市の特産品PRを目的とした「熊本・合志マルシェ」をふくぎん本店広場で開催しました。当日は、旬の小玉スイカ「ひとりじめ」の販売会や規格外の旬のアスパラガスのつかみどりなど合志市の特産品をはじめ、合志市産希少品種のサツマイモ「栗かぐや」を使用して醸造した芋焼酎「KAGUYA+」の初お披露目をいたしました。2日間の開催で、



多くの人で賑わう台熊祭々 photo by 初耳/hatsumimi



台湾グルメブース photo by 初耳/hatsumimi



台湾雑貨ブース photo by 初耳/hatsumimi



熊本銀行×SOUP LABブース



台熊祭々 ポスター

続いて、今年で2回目の開催となる熊本と台湾の文化交流イベント「台熊祭々2025 in 合志市」(主催:台熊祭々実行委員会)に熊本銀行が協賛し、ブース出展を行いました。本イベントは、5月17日(土)・18日(日)に熊本県農業公園カント

小玉スイカやアスパラガスはすべて完売、初お披露目の芋焼酎「KAGUYA+」の試飲も多くの方に爽やかな飲み口を楽しんでいただき、合志市特産品のPRに貢献する取組みになりました。

リーパークで開催され、本場台湾の食や生活文化を伝える事業者のほか、地元事業者との交流プログラムなどが実施されました。

熊本銀行のブースでは、会場近くの商業施設内に新たに outlets した「合志ローンセンター御代志プラザ」内で飲食エリアを運営する「SOUP LAB」(SOUP LABについてはP52~53参照)と連携してスープカレー等を販売し、イベントの盛り上げに貢献しました。初日はあいにくの雨でしたが、2日目は晴天に恵まれ、2日間合計で9,000名以上の方々に来場いただきました。

熊本銀行では、これからも地域産品の知名度向上、販路拡大の取組みを支援するとともに、地域の事業者との協業を通じて、地域の賑わいを創出するなど、地域経済の発展にFFG一体となって貢献してまいります。



熊本銀行 ソリューション営業部 上田、西田、大畑
【お問い合わせ】096-385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

Interview
**Before
After**

vol.06

半導体需要の急速な高まりに伴い セラミックス製品加工事業で躍進

地域のランドマークとなる
広大な新工場が本格稼働開始



株式会社 KOTANI

本社
福岡県北九州市
門司区新門司3-81-6
TEL:093-481-6051

「水まわり」の専門メーカーであるTOTO株式会社の協力企業として、1959年に設立。以来、高い技術力で衛生陶器・水栓機器・ステンレス手摺の加工・組立・検査を手がける。また、自社工場では、創業時から培ってきた技術をベースにして、セラミックスの精密加工品を半導体業界に提供し、高い評価を獲得している。





株式会社 KOTANI

代表取締役 ふじもと ひろし 藤本 博 氏

1951年 福岡県小倉市(現・北九州市小倉南区)生まれ

1971年 株式会社KOTANI入社

2012年 代表取締役就任

TOOTOの業務を請け負う形で 創業し業容を拡大

窯業製品の総称である「セラミックス」ですが、そのなかでも、その組成や形状、製造工程を制御して、高度な機能や特性をもたせた「ファインセラミックス」を始めとする各種セラミックス製品の研削(砥石を当てて表面を削って仕上げる加工)および機械加工が、当社の中核事業です。

小型セラミックスから大型セラミックスまで幅広く対応しており、加工した製品は三次元測定器や画像測定器、各種校正機器によって検査をし、厳密に品質を保っています。

お客さまよりお預かりしたセラミックス素材と図面をもとに、要求品質を満たすための精密・複雑・高度な加工を施し、高品質で高精度の高付加価値製品を提供することで実績を積み上げ、多くの信頼を獲得してまいりました。

また、セラミックスは近年、「硬度」「耐熱性」「耐腐食性」などの特性から半導体製造装置に欠かせないものとなっています。ご存じのとおり、半導体はパソコン、スマートフォン、家電、自動車といった私たちの日常生活に深く関わる製品の多くに組み込まれているため、当社のセ

ラミックス製品加工事業に対する需要はますます高まっているのが現状です。

もともと、当社の前身である有限会社小谷工業所は、福岡県北九州市に本社を置く東陶機器株式会社(現・TOOTO株式会社)の工場内で鉄工業務を協力企業として請け負う形で、1952年に操業を開始しました。初代社長の小谷国彦こたにくにひこが東陶機器で工作課長を務めており、定年退職後に同社の要請により小谷工業所を設立する形で創業でした。

その三年後には、現在の小倉南区に自社工場を竣工させて鉄工・製缶業務をスタート。さら



インタビューに答える藤本社長



藤本社長

に、東陶機器小倉工場で水栓金具の加工組立や衛生陶器の製造も開始します。1970年には、東陶機器の工場が大分県中津市にあった関係で中津に自社工場を設立。東陶機器の後援のもと、誠実なものづくりと現場での確かな仕事ぶりを通じて信頼を積み重ねながら、着実に事業を拡大していきました。そして1985年、東陶機器の中津工場内でセラミックスの加工・検査業務を開始し、これが当社の発展における大きな転機となりました。

受注増で急務となった 大規模新工場プロジェクト

セラミックス加工における当社の成長はその後も続きます。セラミックス関連の精密加工分野で取引先が拡大し、中津の自社工場でのセラミックス加工を開始すると受注が増え、1990年には中津工場を増設。1994年竣工の新門司工場も2000年にセラミックス事業を開



奥野専務

始します。各拠点での生産体制を整え、高度な品質基準もクリアしながら、2016年には資本金を増資して、現社名へと商号を変更。時代の変化に柔軟に対応していくために、株式会社KOTANIとして組織を再編しました。その後もセラミックス加工の受注増に伴い、中津第二工場竣工、新門司工場増設と、拠点の拡充を図っていきました。

そうした活動を経てもなお、中津における二つの工場では、徐々に生産能力の増強余地が少なくなっていく、従業員用および取引先など来場者のための駐車場が十分に確保できないとい

■工場



マシニングセンタ



機械を操作する従業員



レーザー加工機



柱が少なく機械の配置がしやすい工場内



機械と人の目の検査で品質を保証している



工場の屋上に設置された太陽光パネル

う課題も発生し始めました。それに加えて、既存工場自体の老朽化が進み、作業環境の改善と作業効率の向上が必要な時期にさしかかり、従業員の安全性や働きやすさをより高めていく必要性も出てきました。

さらに、新工場建設の背景には、セラミックス産業の急速な発展に対応するため、より高品質かつ安定した製品供給を実現するための拠点整備が急務になっていた点が、何よりも大きな理由としてあります。

当社にとつては、1994年の新門司工場竣工以来、三十年ぶりの大規模な新工場のプロジェクトですから、不動産に関する知識とノウハウが十分でないなかでの取り組みとなり、どこから手を付けるべきか正直とまどい、自社の経験値だけで乗り切るのは難しい状況でした。

幸いなことに、中津市の斡旋で建設用地の取得はなんとかできましたが、工場の建設についてはプロの力を借りるしかありません。どうしたものかと、メインバンクである福岡銀行の門司駅前支店に相談したところ、同行の不動産ソリューションサービスを展開するFFGBビジネスコンサルティング（以下：FFGB）につないでいただき、結果として、およそ二年半にわたるプロジェクトを首尾よく進行させることができました。

十年先、二十年先を見すえた 新工場の設計

FFGBには、事業計画策定のフェーズから参画していただき、各段階で選択肢を用意した提案をしていただいたので、大いに助かりました。取引先との契約の関係上、竣工期限の厳守が求められる状況でしたから、即断即決で意志決定を円滑に進められました。設計施工業者の選定でも本プロジェクトにふさわしい5社の候補を挙げていただくなど、構想段階から始まって、竣工に伴う既存の中津第一・第二工場の移転、そして新工場の本格稼働に到るまで、長きにわたって伴走していただきました。

また、提案していただいたプランのなかには、



施工前

■室内施設



100名以上が着席できるラウンジ



広々とした商談スペース



大型モニターを配備したミーティングルーム



6基の洗面台を完備した洗面室



事務室

新工場の今後、つまり十年先、二十年先を見ずえ
ての案もあり、「工場は建てたら終わりではなく、
そこで働く人たちの時間がずっと続いていくとこ
ろまで考えなければならない」という長期的な視
点による工夫が込められていたと思います。

その典型とされる提案が、大きな建屋の柱の
数をできるかぎりコンパクトにするプランで
す。新工場のメインスペースは、一連の生産ラ
インを集約して配置する設計となっています。
隣接する検査室も含めて合理的な流れを作るの
が目的です。そして、100m×60mの広さが
あるメインスペースには柱が1列のみで、構造
上の安全面を考慮したうえで、柱数を可能な
かぎり少なくした設計にしてみました。

これは、将来的に生産ラインの変更が生じた際、
レイアウトの自由度を確保するためです。

環境負荷低減に注力して 持続可能なものづくりへ

FFGBCに提案していただいたプランのな
かにもうひとつ、今後に向けた取り組みとして

新工場は二階建て構造で、作業場の上の二階
は従業員がくつろぐためのスペースを中心に配
置しました。更衣室、洗面室、ラウンジ、キッ
チン、会議室、事務室、書庫などが、いずれも
使い勝手のよさを重視して、しつらえられてい
ます。なかでも、100名を超える工場従業員
が全員着席できるだけのテーブルと椅子を配し
た広いラウンジは、ゆったりとした空間で食事
と休憩がとれる憩いの場となっています。

勤めていただいたのが、新工場への太陽光パネ
ルの導入と省エネ設備の活用です。これは、「ゼ
ロ・エネルギー・ビル（ZEB）」という考え
方にもとづくもので、建物内で消費するエネ
ルギーを削減すると同時に、使用するエネルギー
を自ら生産する仕組みによってエネルギーの収
支をゼロ以下にする『ZEB』認証を取得して
います。

当社は、地域社会の一員として、環境負荷の
低減に取り組み、持続可能なものづくりを支え
る拠点としての役割を担うのが当然の使命であ
ると考えております。これからも、環境への配
慮を重要なテーマとして、再生可能エネルギー
の活用や省エネ対策を通じて、サステナブルな
工場運営を進めてまいります。

昨年10月より本格稼働を開始した中津新工場

は、最新のレイアウト設計にもとづき、作業動線の最適化、照明や空調の見直しによる職場環境の改善、設備の更新による生産性の向上を実現できました。また、クリーンで整然と配置された作業空間によって、品質管理体制もより強化されました。

新工場プロジェクトの過程で、福岡銀行およびFFGBCには、さまざまな局面で専門的なアドバイスの確かなサポートをしていただき、そのつど心強く感じてきました。私たちの要望を丁寧に汲み取ってプランに反映していただいたおかげで、機能的かつ将来を見すえた好環境の工場を無事に完成させることができました。今となってはあらためて、福岡銀行との取引に対する安心感と信頼感をつくづく実感している次第です。

信頼されるものづくりを通じて 「なくてはならない会社」に

当社は、創業以来一貫して「信頼されるものづくり」を大切にしながら、お客さま、地域社会とのつながりを構築してきました。そして、今から半世紀後、五十年先であっても、変化の著しい時代に即応して柔軟に、進化をやめない

企業であり続けたいと考えております。

まずは、主力事業であるセラミックス製品の加工分野において、さらに高度な品質および精度要求に応えられるよう、設備投資と技術力の強化を継続していきます。加えて、DX（デジタルトランスフォーメーション）や自動化の推進を通じて、安定した生産体制と働きやすい職場づくりを、これまで以上に実現していきたいと考えています。

その一方で、若手人材の採用と育成にも力を注ぎ、将来を担う次世代が安心して働け、達成感と充実感を得ながら成長していけるような企業文化を築いていきたいと思っています。従業員一人ひとりがやりがいを感じ、自ら考えて行動できる組織づくりを目指してまいります。

さらに、前述した地域環境への配慮と並んで、地域社会との共生もまた当社にとって、軽んじてはならない大事なテーマです。新工場の稼働は地元の雇用創出につながり、地域振興の一助になったという意見もあります。これまでは「自動車産業の町」というイメージがやや強かった中津市ですが、新たな産業の拠点としての一面を加えるきっかけになれるとしたら、喜ばしいかぎりです。そういった意味で、地域のイベントや教育支援など、地域に根ざした活動にも積極的に取り組んでいきます。

ひとまず十年後には、「なくてはならない会社」として、「技術」「人」「地域」のすべてにおいて信頼される存在でありたい。それが、当社が思い描く未来、百年企業へ向かうための第一歩です。



Interview

今回の担当

FFGビジネスコンサルティング
不動産ソリューション部

副部長 大隈 剛

お問い合わせ

株式会社FFGビジネスコンサルティング
不動産ソリューション部
福岡市中央区大手門一丁目8番3号
FFG本社ビル
TEL. 092-723-2372

一級建築士や宅地建物取引士等の資格を保有し、豊富な経験を持つスタッフが、貴社が抱える様々なニーズにご対応します。



集合写真(左から井上常務、藤本社長、奥野専務、弓取取締役)

福岡県・久留米市

おかえりなさい!

特別編

九州の逸品
KYUSYU NO IPPIN

FILE No.67

九州の残したい味を
ご紹介致します。

ひろせ食堂 ラーメン&焼きめし



復活オープンした老舗店

2025年4月24日(木)、福岡県久留米市で「ひろせ食堂」が復活オープンしました。昭和32年に創業した「ひろせ食堂」は、久留米三大食堂系ラーメンの一つとして地元の人に長年愛されてきました。立ち退きが決まり2代目店主 廣瀬孝氏^{ひろせ たかし}が閉業を考えていた中、その味を守るために立ち上がったのが、「ラーメン龍の家」^{らーめん 龍の家}を運営する株式会社アベックスコーポレーションの代表取締役 梶原龍太氏^{かじわら りゅうた}です。「この味をなくしてはならない」という梶原社長の熱い想いと継承に至った経緯、今後の展開についてお話を伺いました。



ひろせ食堂

■住所／福岡県久留米市荒木町白口10-2-1

国道209号線(津福バイパス沿い)

■営業時間／11:00~18:00(水曜定休)

■駐車場／敷地内5台、店舗裏9台

※味の継承が最優先のため、納得のいく仕上がりでない場合は閉店時間を早めたり、臨時休業とさせていただく場合があります※「ラーメン龍の家」Instagramでも「ひろせ食堂」について紹介しています

龍の家
Instagram



ラーメン、並焼きめし
各850円
セットは1,650円





創業当時の「ひろせ食堂」。店先で母親に抱えられているのが廣瀬氏。
ちなみにお母さんは食堂の看板娘として83歳まで焼きめしを作っていた

「ひろせ食堂」の思い出

私にとって「ひろせ食堂」は、思い出がたくさん詰まった大切な場所です。小学生の頃、家族そろって食事に行くのが楽しみでした。当時はメニューが豊富で、ちゃんぽんや焼きそば、野菜炒めなど、それぞれの好みに合わせて注文できました。

実は、私は豚骨ラーメンが苦手でしたが、母にすすめられて、半ば仕方なく一口食べてみると「お、美味しい！」と驚きました。苦手だったラーメンが大好きになったのも「ひろせ食堂」のおかげです。

小学生でボリウム満点の焼きめしとラーメンを完食した時には、先代の大將から「ひとりで食べたのか！すごいな！」と褒められ、子どもながらに嬉しく、誇らしい気持ちになったのを覚えています。

中学・高校では野球部に所属しており、部活終わりにはみんなでよく

「ひろせ食堂」に立ち寄っていました。また休みの日にも友人らと頻繁に訪れていたため、今でも廣瀬さんから「梶原君はいろんな女の子連れてきよった」とからかわれることがあります(笑)。なぜ「ひろせ食堂」なのか？それは、幼い頃から家族で通っていて、まるで生活の一部のように馴染んでいたお店だったからです。そんな馴染みの場所に友人を連れて行き、「美味しい！」と笑顔を見せてくれたあの瞬間は、今でも忘れられません。「ここに連れてきてよかった」と心から感じましたし、自分にとって特別な場所を、友人も気に入ってくれたことが嬉しくて。なにより、美味しい食事を囲む時間は、人の心に深く刻まれるものだと思います。



Profile: 梶原龍太(かじわら・りゅうた)／福岡県久留米市出身。1972年2月6日生まれの53歳。九州産業大学卒。大手ディスカウントストアに勤務後、1998年株式会社アベックスに入社。同年にラーメン事業のアベックスフーズを立ち上げ、1999年5月に「ラーメン龍の家」を創業。2013年9月からアベックスグループの代表を務める。趣味はドライブ。

「この味をなくしてはならない」 強い思いで暖簾継承を決意

「ひろせ食堂」は数年前からメニューが「ラーメンのみ」または「焼きめしのみ」となり、不安定な営業が続いていました。実は、初代夫婦が他界されて以降、人手不足や2代目ご自身の体調不良、さらに店舗立ち退きの話もでていて、とても苦労されていたのです。ネットやSNSでは店舗の存続を危ぶむ声まであがっていました。そんな中、閉業の意向が事実であると知った私は、矢も盾もたまらず「ひろせ食堂のラーメンと焼きめしを継承させてください！」と直談判に行っただけです。とにかく



旧店舗で廣瀬氏(左)から看板を受け取る梶原社長

「この味をなくしたくない。いや、なくしてはならない」という強い使命感が私を突き動かししました。すると、その場で「よかよか、やらんね！レシピ全部教えるばい！明日から来てよかよ！」と。

それで当社でラーメン事業を長年支えてきたマネージャーの田頭^{たがし}が翌日お店に伺うと、本当に快く迎え入れてくださり、営業する中で廣瀬さんから直々に教えていただけることになりました。これまでが家族経営ゆえに、詳細なマニュアルはなく、

長年の経験や感覚がひろせの味をつくり出していました。まずは田頭がその味を出せるようになるために、毎日厨房に立ち、廣瀬さんに教えていただきながら、身につけていきました。

もちろん田頭が作る焼きめしは、すぐにお客さまにお出しできるわけではなく、練習のために本社の社員総出で毎日のように食べに行きました。

一方ラーメンは、すでに提供されていたため、自社工場に釜を移して、材料を揃え、廣瀬さんに味を細かく見ていただきながら、ひたすらスープを作る日々が続きました。

お金には代えられない名店継承

事業譲渡について廣瀬さんに不利益が生じてはいけないと思い、金銭的なお話もしましたが、「そんな、いらん!!金じゃなか!!レシピは梶原君のところに教えん!!」と頑として受け入れてくださらなくて。「でしたら、アドバイザー的な存在でいていただけないですか?」と新たに役職を設けようとしても、それも同じでした。「わからないことがあつたらいくらでも教えるけん！小っちゃい頃から店に食べに来てくれた梶原君が親父、お袋のお店を引き継いでくれて、俺は嬉しいんよ。こっちがありがたいばい!」と逆に感謝の言葉までいただきました。



2025年1月。旧店舗に全店長が集結し、暖簾継承を正式発表。感嘆の声と拍手が沸き起こった

さらに、「店にあるもの全部持つて行つてよかよ!」と、旧店舗の大きな鏡やメニュー札、テーブルや椅子、食器、照明など備品を譲り受けました。新店舗では、旧店舗の備品をできる限り活用し、メニューだけでなく、店の雰囲気も継承するように心掛けています。廣瀬さんの温かな想いに心から感謝し、「この暖簾を絶対に守りぬく」という覚悟を決めました。



1.厨房に立つ梶原社長。「ひろせと言えばラーメン焼きめしセット。これをなくしたくなかった」と語る／2.「ひろせ食堂」復活の立役者の一人である田頭マネージャー／3.ボリューム満点の焼きめしはスタッフが交代で作る

いよいよオープン！ 久留米っ子が待ちわびた味

ようやく迎えたオープン日は、心待ちにしてくださっていた方々で、開店数時間前から行列ができていました。厨房から様子をうかがっていると、一口スープを飲んで目を閉じ、何度もうなずくような仕草をされるお客さまが多く、「ひろせ食堂」の味を思い出してくださっているようで本当に嬉しかったです。

久留米ラーメンの豚骨スープはいわゆる「呼び戻し（継ぎ足し）」といわれる手法です。これはメインの釜のスープが減つてくると別の釜で煮立てた新しいスープを一方に継ぎ足す方法です。しかし、「ひろせ食堂」の製法は独特で、2つの釜を使ってスープが行ったり来たりします。「ラーメン龍の家」で26年豚骨スープに向き合ってきた私ですが、70年近く前に先代が考え出した職人技には驚かされます。その技を受け継ぎながら、ラーメン職人としての腕が試される場合は、緊張感とともに、新たな発見の連続でもあり、わくわくしています。

またほとんどのお客さまが焼きめしを注文されるため、その仕上がりを見計らってラーメンを作ります。お待たせしてしまうこともあります。焼めしが完成するまでの「間」があることで、本釜を最高の状態に整えることができます。確かなのは、釜の中に良い循環が生まれると、スープが一段と美味しくなるということ。まるでお客さまが、スープを育ててくださっているようなものです。

「ラーメン龍の家」開業までの ヒストリーと今後の事業展開

1999年5月に「ラーメン龍の家」を開業しましたが、大学生の頃はラーメン屋になろうとは思っていませんでした。それどころか、父が経営する会社があるからと、就職活動を全くせず、父から「就職先は見つかったか？」という言葉で慌てて就職先を探しました。決まった就職先は、同期が170名ほどいる大手デイスカウントストアでした。配属先は地方の小さな店舗でしたが、新型テレビの販売コンテストで700名中トップに立つことが評価され、1年半後には大型新規店舗へ異動となりました。

その後、いずれは地元に戻りたいと考えていたので、退職して久留米に戻ってきました。当時父の会社の主力はレンタルビデオ業でしたが、大手との



新店舗の「ひろせ食堂」店内。食べきれない焼きめしを持ち帰れるように中央のテーブルにアルミホイルが置かれているのも、旧店舗と同じ



新店舗オープン前の最終チェックを終え、安堵の笑顔を見せる二人

価格競争が激しく、「これから生き残れる業種は何だろうか？」と考え続けました。その結果、「人は一生食べ続ける。飲食業は人が生きていく上で必要な業種だ」という考えに至りました。

飲食業を始めるにあたり、様々な飲食店のオーナーと話した中で、「一風堂」の河原成美社長のラーメンに懸ける熱い想いに感銘を受け、河原社長のもとで修業させていただきました。その後、「ラーメン龍の家」を開業し、現在は国内に10店舗、アメリカに3店舗を出店しています。

今後の事業展開としては、「ラーメン龍の家」は席数の少ない都市型店舗を増やしていく計画です。また、2019年には熊本市にラーメンの新ブランド店「ねじれ麺 豪傑」をオープンしました。今後はFC展開も視野にいていきます。

「ひろせ食堂」については、受け継いだ味をしっかり守っていくことが最優先だと思っています。大切な技術やレシピを託していただいたことへの深い感謝と、ご恩返しのできるよう、これからも末永く愛されるお店で在り続けられるよう、大切に営業してまいります。



▲旧店舗の張り紙をもじった看板

株式会社 アベックスコーポレーション

- 本社所在地：福岡県久留米市小頭町136-1
- 創業：1984年10月
- 資本金：5,000万円
- 代表取締役：梶原 龍太
- 事業内容：ラーメン店・コメダ珈琲店(FC)・カラオケ店・美容室の経営、製麺事業、ラーメン通販事業、不動産事業など
- 取引銀行：福岡銀行 久留米営業部
熊本銀行 久留米支店



会社
ホームページ



龍の家
ホームページ





海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。

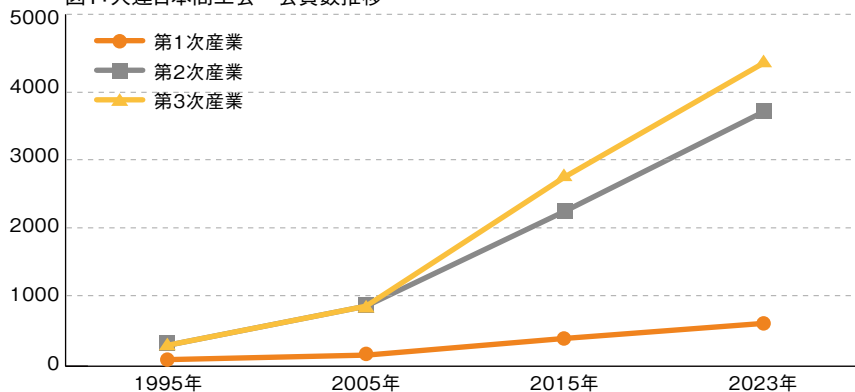
今回、大連駐在員事務所の宮下所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

現地の状況について
教えてください

A 1995年の設立から30年、福岡銀行大連駐在員事務所はお客さまの中国進出をサポートしながら共に歩んで参りました。この節目の年に当たり、中国・大連という都市がどのような変化を遂げて来

図1：大連日本商工会 会員数推移



(出所：大連日本商工会提供データより筆者作成)

写真1：進出当時の写真



進出当初の大連（開発区）：高層ビルはまだ少なく、開発が各所で進行していた。（1995年11月6日）

写真2：現在の写真



現在の大連（開発区）：高層ビルが立ち並び、環境規制の強化により大気環境も大きく改善された。

たのかを年代別に振り返ります。

【1995年～2005年
製造業進出黄金時代】

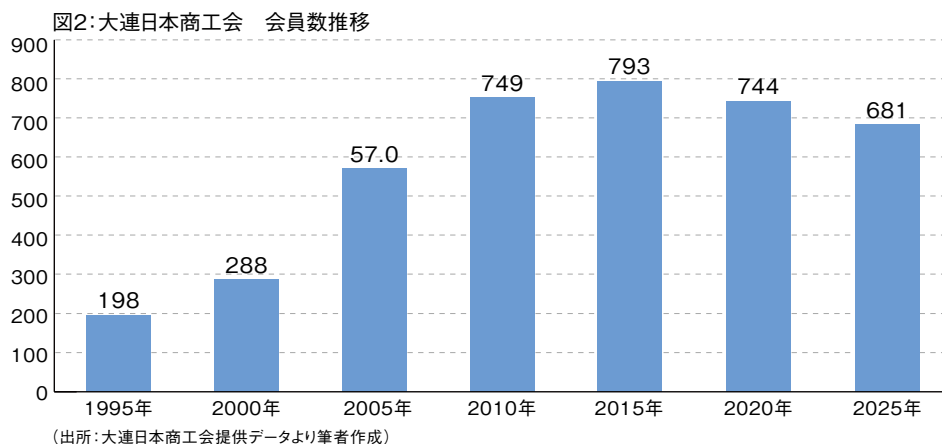
当駐在員事務所設立当時の大連市は経済技術開発区を中心にインフラ整備が進み、外資系企業受入の黎明期にありました。①豊富で安価な労働力、②九州との物理的な近さと不凍港を持つ物流上の利便性、③良好な対日感情等の特色を背景に、製造業を中心とした多くの日本企業が進

出を始めました（図1）。自動車部品や電子機器、金属加工などの工場が相次いで設立され、労働集約型製造業の集積地として大連の地位が確立されていた時代でした。（写真1、2）

【2005年～2015年

IT関連事業の発展と
都市機能高度化の時代】

製造業の集積が成熟期に入中、大連市はソフトウェア産業やBPO（業務委託）を次なる成長



の柱に据えました。大連ソフトウェアパークや高新園區の様なハイテク産業集積地の整備が進み、日本語を使えるIT人材が豊富にいたことから、開発/コールセンタ―業務のアウトソース先として、日系IT関連企業が続々と

進出してきました。その進出ラッシュに併せて、地下鉄の開通や都市高速の整備等、都市機能の高度化が急速に進んだ時代でもありました。

【2015年～2025年 産業構造転換の時代】

近年は人件費の上昇や米中対立などの地政学的リスクを背景に、日系を含む外資系企業の撤退や再編が徐々に進行しています(図2)。2020年のコロナ禍もその動きを後押しするかたちとなりましたが、その背景には、現地中国企業の急成長と競争力の向上に加え、日本企業が中国市場特有の急速なデジタル化やネット販売といった変化に十分適応できなかったという側面があることも見逃せません。中国政府は現在、高付加価値産業への構造転換やスマート化を推進し、大連市を「中国東北部再興のエンジン」と位置づけています。次なる10年間は、大連市の真価を目の当たりにする時代になるかも知れません。

Question 2

現地企業の声を聞かせて下さい

A 2004年に大連市へ進出した株式会社ナッツ(キャンピングカー製造販売)の現地法人、拿賜(大連)特殊車輛製造有限公司の和田総経理にお話を伺いました。

和田総経理… 弊社はキャンピングカーの完成車輸出を目指し、当時の仕入れ先があった大連へ進出しました。当時の大連は、山を切り開いて多くの工場やマンションが建設され、活気に満ち溢れていました。インフラも整備途中で大変な苦勞もしましたが、人材募集の張り紙一枚で50人以上が面接に並ぶほど、現地の期待と熱気を肌で感じたのを今でも覚えています。

大連は日本企業と長年にわたる技術蓄積を重ねてきた背景があり、製造現場には高い技能を持つ人材が多く揃っています。弊社大連工場では、この工場で作れないハイグレード帯の製品を開

発・製造しています。さらに、親日的な風土や日本語話者の多さ(図3)、他地域にはない大きな魅力です。今後はこうした強みを生かし、単なる製造工場という考えを改め、技術と信頼に裏打ちされた、価値あるモノづくりで持続可能なビジネスを築いていくことが重要です。(写真3、4)

図3:人口100万人あたりのN1受験者数(2024年)

※N1:日本語能力試験(JLPT)の最上級レベルで、高度な日本語理解力が求められる試験。

順位	都市	人口100万人あたりの受験者数(人)	常住人口(万人)
1	大連	653	754
2	広州	652	1,898
3	上海	388	2,480
4	杭州	286	1,262
5	長沙	281	1,062
6	武漢	275	1,381
7	北京	270	2,183
8	西安	270	1,317
9	南京	223	958
10	天津	170	1,364

(「日本語能力試験」Webサイト、JETRO提供データを基に筆者作成)

写真3: ナッツ様作業風景



手作業での工程には、現地従業員の熟練した技が光る。

写真4: ナッツ様出荷風景



入念な品質確認を経て、細心の注意を払い出荷される完成車体

初代所長よりメッセージ

1989年6月の天安門事件から2年後の91年7月に北京の大学への語学留学をきっかけに中国事業に携わり、その後1995年3月に福岡銀行にとって中国大陸初の上海駐在員事務所をおよそ1年半かけて開設致しました。

同時期に大連にも事務所開設する計画があり、上海事務所勤務の傍ら大連市政府や北京の人民銀行へ何度も足を運びながら1年がかりで認可を取得し、95年11月に大陸で2番目の大連駐在員事務所を開設致しました。

当時は鄧小平が1992年に「武漢、深圳、珠海、上海」を視察し講話した所謂「南巡講話」をきっかけに改革開放の大号令が出て沿岸部を中心に開発が進んできた時期でした。

九州から大連経済開発区や経済特区へ進出する企業が増え続け、当時は事務所業務も合併会社設立や貿易の相談などで相当

多忙を極めていました。

また、福岡銀行が主導して中国初の「上海福岡県人会」設立に続き、大連でも「大連福岡県人会」を設立させましたが、30年たった今でも脈々と活動している事を聞いて感慨深い事です。

最近の中国を取り巻く環境は相当厳しい面もありますが、これからも福岡銀行大連事務所が九州と大連の経済・文化面での橋渡し役として活躍されますことを祈念致します。(写真5)

福岡商事株式会社

代表取締役社長 古江寿則

写真5



大連駐在員事務所 開所式のテープカット

Take a Break



所長の
ちょっとひと息

現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介ください

写真6



大連の冰山慧谷・熊洞街は、かつて労働集約型の重工業が集まっていた地区を再生した創意産業エリアです。長いモノづくりの歴史を経て、現在では高付加価値な製品やサービスを生み出す都市へと進化しました。歴史的な工場建築を活かした街には、アート、カフェ、スタートアップが集い、大連の産業転換と創造力を象徴する空間となっています。(写真6)

お城巡りが趣味の中野支店長が実際に行った日本全国のお城を紹介

Vol.9 北海道・東北編②

お城巡り



日本100名城
No.4

桜の咲く頃に
ひろさきじょう
弘前城



弘前城HP

【住所】青森県弘前市大字下白銀町1

【電話】0172-33-8739 (弘前市公園緑地課)

2020年11月登城。2022年8月再登城。小ぶりだが凛とした佇まいの東北唯一の現存12天守(写真①)。5つある城門のうち、正面玄関である追手門が一番風格有り(写真②)。4月中旬～5月上旬に開催される“弘前さくらまつり”の頃に再訪したい。

※弘前城天守は約10年の石垣修理工事を終えて、2026年秋に元の場所に戻る予定です。



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人
日本城郭協会 HP



日本100名城
No.12



青空に映える城

あいづわかまつじょう つるがじょう
2 会津若松城(鶴ヶ城)

【住所】福島県会津若松市追手町1-1

【電話】0242-27-4005

(一般財団法人 会津若松観光ビューロー)

2020年11月登城。滞在2時間弱で曇天から晴天へ変わり、写真映えがこうも異なるものかと実感(写真③、④)。城内では城の歴史が紹介されており、戊辰戦争の激戦ぶりを物語っていた。お昼は喜多方ラーメンでチャージ完了(写真⑤)。



会津若松城HP

私がお案内
します!



福岡銀行 添田支店
なかの みのる
中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。

日本100名城
No.1



未知の領域へ

ねむろはんとう
4 根室半島
あどぐん
チャシ跡群

【住所】北海道根室市温根元59

【電話】0153-25-3661

(根室市歴史と自然の資料館)

2020年11月登城。スタンプラリー最大の難所(写真⑨)。函館から高速利用しても片道10時間、車内で熱唱し続ける。本土最東端の納沙布岬にも立ち寄る(写真⑩)。往きは帯広の豚井(写真⑪)、釧路の夜は映画鑑賞。帰りは登別温泉を楽しむ。



根室半島チャシ跡群
HP

約10年ぶりに

せんだいじょう
3 仙台城

【住所】宮城県仙台市青葉区川内1

【電話】022-214-8544

(仙台市教育局文化財課)

2020年11月登城。美しい反り石垣(写真⑥)が、丘陵地にある城跡を更に際立たせる(写真⑦)。東日本大震災直後の6月に銀行派遣ボランティア隊で訪れて以来で、復興した仙台駅周辺を感慨深く散策。もちろん牛タンにも舌鼓(写真⑧)。



仙台城HP



※本ページの掲載内容は訪問当時のものです。※「日本100名城」は公益財団法人日本城郭協会が定めた呼称です。

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社ゼンケイ

代表取締役社長

かみ ささ ぬき よし ひろ

上笹貫 祥寛氏

取引店／熊本銀行 鹿児島支店

ゼンケイが守るあなたの未来

そもそも警備業が世間一般に広く認知されはじめたのは、1964年に東京で開催されたオリンピックの選手村の警備がきっかけです。その後、

当社は鹿児島県で4支社・3営業所・1出張所を構えて事業を展開する警備業者です。1968年に私の伯父が東京にて全国警備保障株式会社を設立し、当社はその鹿児島営業所として事業を開始したのが始まりです。今では離島を除く県内のほぼ全域をカバーできる体制を整えており、常駐警備や機械警備、交通誘導警備など様々な警備に対応している他、セキュリティ機器や防災・防災グッズの販売、AED（自動体外式除細動器）のレンタル・販売など、警備から派生する業務も行っています。



株式会社ゼンケイ本社



高速警備隊

高度経済成長期における企業の合理化と雇用の拡大を背景に急速に発展してきました。近年では地震や豪雨・台風などの自然災害やテロリズムの脅威が高まる中で、安全対策への関心が高まり、企業に対する警備サービスの需要は増加傾向にあります。また、日本は高齢化社会が進み、核家族化の影響で高齢者の単身世帯が増加していることから、防犯対策や安否確認サービスの需要も増加しています。さらに、IoTやAI技術を駆使した新しいセキュリティサービスも展開されています。私たちは、単に業務を遂行するだけではなく、お客さまの様々なニーズに柔軟に対応し『あなたの未来を守る』ため、

「専門性」「法的規制」「テクノロジーの活用」「社会的役割」「お客さまとのコミュニケーション」を意識し、日々の業務に励んでいます。

『基本は人なり』を抱き、 新しい時代(SDGs)へ

当社は今年で創業45周年を迎えることができました。これもひとえにお客さまをはじめとして、お取引先や社命を理解しこれまで共に歩んできた従業員のおかげであると、深く感謝しております。

警備業というものは、お客さまの生命、財産などをお守りし、安全を担保するのはもちろんですが、平時において皆様に安心感を抱いていただくためのサービス(接遇・教育・人間性)が重要であると心得ています。

当社は『基本は人なり』をモットーに創業当時から今まで歩んできました。少子化の進行や、科学技術の進歩により機械化・ロボット化・AI化が進んでいます。当社はこれらを上手く活用しながら時代に即した警備業を追求していきつつ、『基本は人なり』のモットーで、これからも社会に貢献していきます。

創業45周年を機に、これまでの事業を振り返ると同時に事業の棚卸を行いました。そして今後の進むべき道を数値化することが、当社にとっての持続可能な社会への大きな貢献になると考え、(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用しKPI(指標と目標)を設定しました。そして確実な成長をし、さらに地域から必要とされる企業になることを目指し、従業員一丸となり努力と追及を続けてまいります。



(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(右から上笹貫社長、熊本銀行鹿児島支店 渡邊 前・支店長(現・人事部長))

株式会社 ゼンケイ

■本社所在地：〒892-0836 鹿児島市錦江町7番35号

■電話番号：099-813-7240

■事業内容：常駐警備／機械警備／交通誘導警備／ホームセキュリティ／
防犯・防災グッズ販売、AEDレンタル・販売

■支社・営業所・出張所：川内支社、あいら支社、鹿屋支社、南さつま営業所、指宿営業所、志布志営業所、出水出張所



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

イケシヨウ 株式会社

代表取締役

池松 勝氏

取引店／十八親和銀行 佐賀中央支店

福岡県大川市の
伝統を継承
輸入木材販売・
家具製造販売会社

当社は1978年に創業した「池松材木店」から始まり、50年近く木材業界の第一線に立って、「人に優しく、地球に優しく、豊かなものづくり、社会づくりに貢献」を理念に輸入木材の販売や、家具の製造・販売を行っています。福岡県大川市の伝統を受け継ぎながら、現代



本社(佐賀県神埼市)

のライフスタイルにあった商品の開発を行うことで、「福祉家具」など魅力的な新商品も開発しています。

グループ4社で家具に関する一貫したサービスを提供

イケシヨウグループは当社を中核として、家具製造・組み立てを主業務とする「株式会社I.Mコーポレーション」、家具販売・家具部材の加工販売を主業務とする「株式会社サンコウ」、家具販売を主業務とする「アイクラフト有有限会社」の4社でグループを構成しています。

材料の仕入れから製造・加工、販売までを

グループ4社で補完しながら、お客さまへ一貫したサービスを提供できることが当社の強みです。

ECサイトを強化するとともに 実店舗での体験型販売も充実

2019年に自社ブランドのネットショップ「Wooden JAPAN 匠一松」を立ち上げました。仕入れから製造・加工を一貫して行えるメリットを活かして、サイズや材質など顧客の細かい要望に応えるとともに、一点一点を丁寧に仕上げた品質で、お客さまより大変好評を得ています。現在では

売上の2割程度を占める販売チャネルとなっています。

また20

24年に本社を新設・移転した際、本社敷地内に店舗兼カフェ



Lit I/リットアイ Café&Furniture

「Lit I / リットアイ Café & Furniture」をオープンしました。こちらではカフェで飲食を愉しむ傍ら、当社の商品を実際に触り、素材や手触り、色味などを体験することができます。普段忙しくて家具選びをネットでしかできない方も、家具を見ながらゆっくりとくつろいでいただければ幸いです。ドライブがてら一度「Lit I」に是非お立ち寄りください。

資源の循環型社会への貢献 産地や会社の持続可能性を高める

当然ですが、当社製品の原材料は木材です。環境保全の源である森林を事業の資源としているため、会社や産地全体の持続可能性を高めるためには木材の調達先の選定、調達方法、管理が重要となります。

当社では木材選びのマイスターが世界各国を訪れ、その目で検品して選抜いた木材を仕入れています。仕入れる際は取引先の要望に対応できるようトレーサビリティを確保しています。トレーサビリティの確保とは「その製品がいつ・どこで・だれによって作られたか」を明確にし、原料の調達から生産、消費または廃棄までが追跡

可能であることです。また適切な森林管理が行われていることを認証するFSC認証や各国の木材管理制度に則った認証制度に基づき、認証を受けている木材を取り扱っています。当社は事業の資源となる森林を守りながら、また働きやすい職場環境を整えつつ、会社の持続可能性を高めて産地全体でさらに発展していきたいと思っています。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(右から池松社長、十八親和銀行佐賀中央支店 石川 前・支店長(現・早岐支店長))

イケショウ 株式会社

■本社所在地：〒842-0062 佐賀県神埼市千代田町柳島1137-1

■電話番号：0952-37-5805

■事業内容：木材販売、家具木工資材販売、家具製造、特注家具製造、オンライン販売、家具インテリア雑貨販売、カフェ、フットサルコートレンタル

■関連会社：株式会社I.Mコーポレーション、アイクラフト有限会社、株式会社サンコウ



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

ひら い ぎ けん こうぎょう
平井技研工業株式会社

代表取締役
ひら い さとし
平井 聡氏

取引店／十八親和銀行 旭町支店

発電プラント機器や産業機械、
鉄骨建築などの
設計を行う専門集団

当社は1952年に「平井工務所」として創業、船舶や機械などの設計業務を開始しました。その後、時代の移り変わりとともに設計業務も高度化し、現在ではメインとなる発電プラント機器や産業機械、鉄骨建築などにおいて基本設計から詳細設計まで行っています。

当社の社員は約160名在籍していますが、そのうち150名が設計業務に携わる、設計業務に特化した会社です。三菱重工グループさまをはじめ、株式会社TMEICさま、協和機電工業

株式会社さまなど地元長崎で事業を展開している多くの企業と取引させていただいております。

技術、品質への誇り
顧客からの信頼に応える

設計を請け負う際は、まずお客さまが求める要件を的確に把握しなければなりません。お客さまのニーズを把握したうえで製図に取り掛かりますが、例えば配管の



レンズ設計

製図一つをとっても、設計次第で機器や建築物の効率性・生産性に大きな違いが出ます。機器を制御するための制御装置では、使用電力や稼働した際の安定性など、設計次第で大きな差が出てまいります。

また実際に製図を行う際は、それぞれの設計に適したソフトウェアを使用します。ソフトウェア次第で設計にかかる時間や図面の見やすさなど、大きな違いがあるためです。

当社では設計業務を開始してから70年以上の経験で蓄積した技術と知見



当社社員一同

があります。お客さまのニーズや要件を的確に把握し、また多数のソフトウェアを駆使して、お客さまへ最適な設計を提案することができま

また設計後、製造・建設するための部品の手配や、完成・稼働後のお客さまのアフターフォローなども万全の体制を整えており、お客さまから「安心して任せられる」などありがたいお言葉もいただいています。

社員を大事にするとともに 地域経済活性化に貢献する

業務の性質上、当社の事業資源は人材がすべてだと思っています。もちろんツールとしてパソコンや様々な設備機器は必要ですが、今後当社が事業を維持・継続させ発展していくためには社員の活躍が欠かせません。そのためには、当社が社員に選ばれる会社であるとともに、「ずっと平井技研工業で働きたい」と思われる会社でなければなりません。

働きやすい職場とは「人間らしい生活ができる」こと、「安全や健康に配慮」していること、そして自己啓発など自身のスキルアップができて「チャレンジができる、チャレンジしやすい職場で

ある」ことだと当社は考えます。そのため社員が働きやすい職場環境を整えるために、いくつもの取り組みを行っています。結果として、社員の平均勤続年数も20年以上となっており、社員もそのような環境であることを感じているのでは、と思っています。

当社は、これからお客さまの要望に応え、信頼を得ながら地元長崎とともに発展していきたいと思っています。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(左から平井社長、十八親和銀行旭町支店 松尾支店長)

平井技研工業 株式会社

■本社所在地：〒850-0062 長崎市大谷町3-5

■電話番号：095-861-4567

■事業内容：機械設計、鉄骨建築設計、配管・設備設計、制御設計、人材派遣

■事業所：本社、HIRAI 水の浦ビル、HIRAI 飽の浦ビル

■許可：一般建築士事務所、労働者派遣事業許可証



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

期間：2025年 7月24日(木)～11月28日(金) 定員：40名

FFG経営塾は、若手経営者や後継者、経営幹部の方々を対象に、企業経営者に求められる幅広い知識の修得と、ネットワークづくりを狙いとした講座です。

テーマ	プログラム
「人を動かす」経営 人を動かすことについて経営者として必要な視点を学ぶ	1. 人間関係を築くポイント 2. エンゲージメントを高める組織 3. 従業員のやる気スイッチを理解する 4. まとめ
人材マネジメント 人材育成において経営が果たす役割について学ぶ	1. “人材マネジメント”の重要性について 2. 企業の経営戦略と合致した人事戦略の策定・実行 3. 経営者や人事責任者の責任と役割 4. 事例紹介 5. 経営者へのアドバイス、参加者も含めたディスカッション、Q&A
リーダーシップ 経営に求められるリーダーシップについて学ぶ	1. 印象的なリーダーシップ事例から 2. リーダーシップの基本/原理原則 3. 本質的なリーダーシップ構造と強化 4. 激変する経営環境に対峙するリーダーとしてのレジリエンス
コンプライアンス コンプライアンスの最新動向を学ぶ	1. コンプライアンスの射程 2. 日本の制裁制度の特徴 3. 最近のコンプライアンス事案 （第三者委員会とその課題も含めて） 4. 企業におけるリスクマネジメントの全体像 5. 意味のあるコンプライアンス施策に向けて～コンプライアンス・プログラムと効果検証～ 6. 注目されている組織風土とは何なのか？ どのように活かせるのか？
事業開発 新たな事業価値を創造する考え方、方法について学ぶ	1. 近年の事業環境の変化と事業ドメインの再定義 2. 破壊的イノベーションとは 3.アントレプレナーシップと事業創造プロセスの特徴 4. ビジネスモデル・キャンパスの活用方法
組織マネジメント 経営として必要な組織全体のマネジメントについて学ぶ	1. 組織のカタチー組織を考える様々な切り口と組織形態のあらまし 2. 組織の機能ー「組織」だからできること 3. リーダーシップとマネジメントー組織運営のエンジンとハンドル 4. 組織風土ー心理的安全性のある組織風土を実現する工夫 5. 組織開発ー「人材開発」と同様に「組織開発」も重要であること 6. まとめー自社の組織の課題を確認する

**お申込み
方法**1. 下記URLか右記の二次元バーコードよりアクセスの上、
該当のセミナーのフォームからお申込みください。**<https://www.ffgbc.com/seminar/>**

2. 各講義開催日までにご参加者様に「ご案内メール」をお送りします。

**上記お申込みが難しい場合は、お電話でもお受付しております。****お電話****TEL: 092-723-2241** (FFGビジネスコンサルティング)**ご留意
事項**

※本セミナーはグループワークがございます。

※受講料につきましては、一括でのお振込みをお願いいたします。途中ご欠席の場合でも受講料の一部ご返金は承っておりませんのでご了承ください。尚、振込期限までのキャンセルにつきましては、受講料全額を返金いたします。

※お申込み時にご入力いただきました情報は、FFGビジネスコンサルティング、FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、講師（及びその所属先）において、本セミナーの円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

※当日のセミナー・懇親会等の運営はFFGビジネスコンサルティングが行います。

※セミナーの録音、録画は固くお断りいたします。

※セミナーへのご参加が不適当と判断した場合には、セミナーへのご参加をお断りする場合がございます。

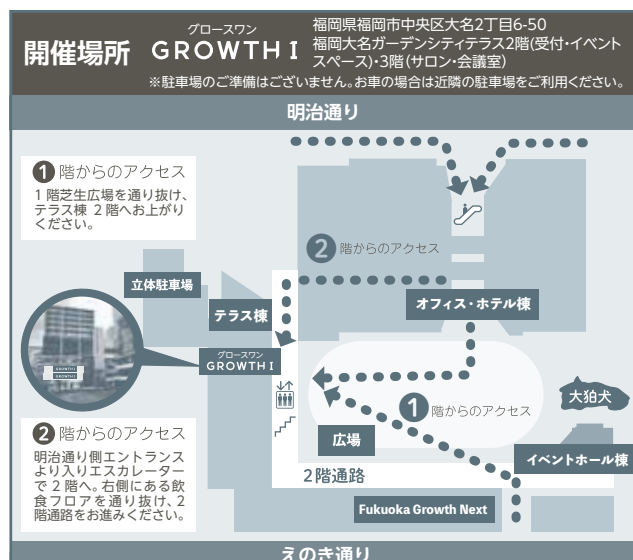
2025年度

FFG経営塾

開催日程

	日 程	時 間	講 師
第1回	2025年 7月24日(木)	開講式 13:00~13:15 セミナー 13:15~17:15 懇親会 17:30~19:30 ※会場は別途ご案内	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー イシハラ ユウイチロウ 石原 由一郎 氏
第2回	2025年 8月21日(木)	セミナー 13:00~17:00	アサヒグループホールディングス株式会社 社外取締役 サトウ チカ 佐藤 千佳 氏
第3回	2025年 9月11日(木)	セミナー 13:00~17:00 茶話会 17:15~18:15	日本生産性本部 主席経営コンサルタント ナカマ ヒロカズ 中間 弘和 氏
第4回	2025年 10月9日(木)	セミナー 13:00~17:00	長島・大野・常松法律事務所 弁護士 カツ ノブ ユキ 勝 伸幸 氏
第5回	2025年 11月6日(木)	セミナー 13:00~17:00 茶話会 17:15~18:15	九州大学経済学研究院 (ビジネス・スクール:QBS) 教授 九州大学ロバート・ファン・アントレプレナー (QREC)センター長 タカタ メグミ 高田 仁 氏
第6回	2025年 11月28日(金)	セミナー 13:00~17:00 閉講式 17:00~17:30 懇親会 17:30~19:30 ※会場は別途ご案内	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・キャリアコンサルタント カバタ ヨシユキ 蒲田 善行 氏

対 象 者	若手経営者・後継者の方々・経営幹部の方々		
定 員	40名(定員になり次第、締め切らせていただきます)		
期 間	2025年7月24日(木)~ 2025年11月28日(金)	場 所	グロースワン GROWTH I
受 講 料	お1人様 FFG経営者クラブ会員／132,000円(税込) 会員以外／178,200円(税込) ※FFG経営者クラブ同時入会の際は会員価格にて受講可能※懇親会費用を含みます。		
お問合せ 申 込 先	株式会社FFGビジネスコンサルティング 担当:高尾・東 〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 TEL 092-723-2241 FAX 092-721-9258		
主 催	FFGビジネスコンサルティング、 福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行		



房総をつなぐ、 「房総横断鉄道」

たすきプロジェクト

今回は、千葉県の代表的なローカル鉄道と千葉銀行グループがタッグを組んで行った地域おこしの取り組み「房総横断鉄道 たすきプロジェクト」をご紹介します。



人口減少、高齢化が進む

小湊鐵道・いすみ鉄道沿線地域

千葉県の代表的なローカル鉄道である小湊鐵道といすみ鐵道。小湊鐵道は、市原市の五井駅を始点に大多喜町の上総中野駅まで39・1km、いすみ鐵道はいすみ市の大原駅から上総中野駅まで26・8kmと、両鐵道の線路は上総中野駅を結節点として、ちょうど房総半島の中央部あたりを横断するように敷かれている。トロッコ列車などの観光列車も走り、車窓からは牧歌的な雰囲気。がたがたよう里山の風景を眺めることができる。春先には、沿線に咲く菜の花も美しい。

その沿線地域（市原市、いすみ市、勝浦市、大多喜町、御宿町）では、人口の減少が進んでいる。

沿線地域の人口をみると、2005年：371,557人→2025年：323,727人と20年前と比較して▲12・9%（▲47,830人）減少した。同期間の千葉県（同+2・6%増）や全国（同▲2・2%減）に比べると、落ち込みは大きくなっている。また、将来の人口に目を向けても、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2045年（20年後）の沿線地域の人口は、260,314人と25年比▲19・6%減となっており、千葉県（同▲7・1%減）や全国（同▲8・6%減）と比べると減少幅が大きい。

沿線地域では人口減と共に、高齢化の進行も進む。沿線地域（2005年：19・8%→2025年：33・6%↓2045年：41・1%）は、千葉県（2005年：16・7%→2025年：27・6%↓

2045年：34・8%）や全国（2005年：20・1%→2025年：29・6%↓2045年：36・3%）と比べると高齢化の進みが早くなっている。

地域を盛り上げる

「房総横断鉄道 たすきプロジェクト」

そんな沿線地域を盛り上げようと、両鐵道と千葉銀行グループがタッグを組んで、新たな地域おこしの取り組み「房総横断鉄道 たすきプロジェクト（以下たすきプロジェクト）」が始まった。両鐵道の沿線地域の事業者が、ちばぎん商店株式会社との運営する購入型クラウドファンディング「C・VALUE」を通じて新たな商品やサービスを提供し、地域の新しい魅力創出を図る。たす



たすきプロジェクトバナー



たすきプロジェクト第2弾

きには、前述の両鉄道の線路をつなぎ合わせる
と、房総半島をたすき掛けにしているように見え
ることに加え、新たな商品や事業の創出によって
地域活性化に貢献する未来への「たすき」、参加企
業同士のマッチングなど人と人との「たすき」と

いった意味が込められている。

2024年12月に開始したたすきプロジェクト
第1弾企画では、小湊鐵道沿線の移住者を巡る
ツアーやいすみ鐵道沿線の宿泊施設による地元
食材を使用した限定ディナーコース、竹林整備と
メンマづくり体験など個性豊か
なプランが揃い、合計400万円
以上の支援を集めた。いずれも沿
線に足を運んでもらうきっかけ
くりを主眼に置く。

1000人を超える 来場者を集めた たすきプロジェクト第2弾 「結び目マチルシェ」

今年4月26日にはたすきプロ
ジェクト第2弾として、小湊鐵道
といすみ鐵道の結節点となる上
総中野駅にて、両鉄道の沿線グル
メなどを楽しめるイベント「結び
目マチルシェ」が開催された。当日
は、地元のグループによる和太鼓

の演舞やダンス、ハンドベル演奏などが披露され
会場を盛り上げたほか、地元のクラフトビール
やジェラート、ジビエ料理など沿線のグルメが約
30店舗出店。人口8,000人の大多喜町に
1,000人を超える来場者が訪れ、大変な賑わ
いを見せた。来場者からは、こうした大規模なイ
ベントは地域では少なく、地域で交流するきっか
けとなっているとの声も聞かれた。

あわせて同イベントでは、C-VALUE上で
新たに公開する11の新企画を沿線事業者自らが
プレゼンテーションを行い、直接来場者に支援を
訴えた。千葉銀行からは、スマートフォンアプリで
閲覧・コレクションができる両鉄道公認の車両型
「房総横断鉄道 たすきNFT」(※)(期間4/26
6/26)を配布したほか、沿線地域への誘客・回
遊を目的にスタンプラリーイベント(4/26〜7/
26)などを発表した。スタンプラリーは、沿線地域
の駅やグルメ、観光名所など50か所にスポットを設
置し、3か所集めると特別乗車券、25か所集めると
沿線旅館の宿泊クーポン券が当たるイベント
で、沿線地域での回遊性を高め、新たな魅力を発
見してもらいたい考えだ。



「結び目マチルシェ」 ジピエ料理や沿線事業者などのブースが並ぶ



発表会のようす

沿線地域の活性化が必要

沿線地域の人口減少と高齢化を背景として、小湊鐵道・いすみ鐵道の利用客も減少している。こうした負のスパイラルが続けば、人々のコミュニティ活動や、経済活動を支えてきた地域鐵道の縮小、廃線につながりかねない。

こうした事態を回避するためには、地域の新たな資源・ニーズの発掘と成長への継続的な支援・投資に地域の関係者が連携して取り組むことが不可欠だ。その意味で、地域の事業者が連携し、地域へ投資を促す「たすきプロジェクト」は大きな意味を持っている。地域の魅力的かつ新たな資源を見出し、そこに投資を集める。本プロジェクトがきっかけとなり、地域の活性化や関係人口の増加、移住定住につながるなど地域全体の盛り上げにつながっていくことを期待したい。

(文責：株式会社ちばぎん総合研究所

長島 裕之)

(※) NFT:「Non-Fungible Token」の略。ブロックチェーン技術を用いて、デジタルデータに唯一の性質を付与して真贋性を担保する機能や、取引履歴を追跡できる機能を持たせたもの。

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ① 複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ② 他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)



編集部の
オススメ!

SOUP LAB
coffee & soup cafe

スープラボ

スープで癒される、 新しいカフェ体験

熊本県合志市にある『SOUP LAB』。熊本電鉄「御代志駅」南側にある商業施設「Spring Garden MIYOSHII」内に熊本県内初となる金融機関とのコラボ店舗としてオープンしました。銀行店舗内でこだわりのスープとコーヒーを楽しめる空間になっています。

『SOUP LAB』は永清代表が2020年に合志市で創業。「地元の農家さんが作る美味しいかぼちゃをもっと多くの人に食べてもらいたい」との想いからスープ作りを始めたそうです。かぼちゃのポタージュの販売からスタートし、ネット販売やイベント等への出店を中心に営業を続けていました。昨年開催された商談会がきっかけとなり熊本銀行との縁が繋がり、地元企業と協業して御代志地区を盛り上げたいという熊本銀行の想いもあり、

「熊本銀行合志ローンセンター御代志プラザ」とのコラボ店舗としてカフェをオープンすることになりました。

『SOUP LAB』では熊本県産、地元合志育ちの新鮮な野菜をたっぷりと使用し、時間をかけて丁寧に仕上げ、素材本来の味を活かしたスープはもちろん、栽培から焙煎、抽出まで厳格な基準を満たしたスペシャルティコーヒーを使用したドリンク、季節の果物を使ったスイーツを味わうことができます。店内は木目調で落ち着いた空間となっており、12席あるイートインスペースで味わうのもよし、テイクアウトも可能なのでご自宅でスープ専門店ならではの味わいを楽しむこともできます。また、コラボ店舗なので御代志プラザでのローンの相談の際にスープ・ドリンクを楽しむことも可能です。

ATMの先にある「スープで癒される、新しいカフェ体験」。こだわりのスープとコーヒーでほっと一息してみてはいかがでしょうか。



イベントも開催「薬膳講座 in SOUP LAB」



カフェは熊本銀行とのコラボ店舗

季節の果物の
スイーツ



🍅 熊本育ちの野菜のスープ 🍅

左からグリーンカレー、車海老のビスク、クラムチャウダー



🍅 スープセットで満足ランチ 🍅

合志で
お待ちしております♪



「SOUP LAB」スタッフ(左2人目が永清代表)



〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-14 11街区5画地B棟102
(SPRING Garden MIYOSHI内)

TEL.090-3463-7620

OPEN 10:00-18:00(定休日:水曜日、祝日、年末年始)

Instagram





東京から、小さな港町へ

合同会社 te to ba 代表 むらの まりえ 村野 麻梨絵

はじめに

はじめまして。五島列島福江島の小さな港町で、ショップ&カフェ、宿泊施設、そしてウェディング事業を営んでいる村野麻梨絵と申します。私は2015年に五島に移住し、気がつけばもうすぐ10年になります。

元々は埼玉県所沢市に住み、東京のアパレル企業で働いていました。アパレル業界では販売促進や広報、プレスの仕事を担当し、毎日朝早くから夜遅くまで働いていました。充実している反面、ふとした瞬間に「太陽がどこから昇って、どこに沈んでいるのだろう」と感じることも多く、都会の生活の中で日々の忙しさに追われる自分に疑問を抱くようになりました。

その頃、友人の結婚式のためにウェディングドレスを作る機会がありました。アクセサリー作りやウェディングドレスの制作を通じて、私の中に「ブライダル事業を立ち上げた

い」という夢が芽生えたのです。そして、アパレルの仕事を退職し、転職活動をしていた時に出会ったのが、五島列島での地域おこし協力隊の募集でした。

当時はウェディングとは無関係の職務でしたが、五島なら自由なスタイルの結婚式ができると感じ、この島で何か新しいことに挑戦しようと決意しました。そして2015年3月、五島に移住して地域おこし協力隊として観光事業や民泊推進などに携わりました。

カフェ「te to ba〈手と場〉」の立ち上げ

移住から約1年が経った頃、遠い親戚が所有していた物件を見つけました。誰も住んでいないため10年近く放置され、廃屋寸前の状態でしたが、その古びた建物に一目で惹かれ、リノベーションして何か新しい場を作ろうと決心しました。

そのようななか、長崎大学の学生



はじめて入った建物の中。自然に還ろうとしているかのようでした



Profile

合同会社 te to ba
代表 村野 麻梨絵

獨協大学英語学科を卒業後、文化服装学院でファッションを学ぶ。卒業後は東京のアパレル企業に勤務し、プレスとして広報等を担当。その後、退職して長崎県五島市の地域おこし協力隊に着任。

任期満了後の2018年、地域資源を活かしたカフェ&ショップ「te to ba〈手と場〉」をオープン。次いで2020年にホステル「ta bi to〈旅人〉」を開業し、五島の自然や文化を活かしたウェディング事業をスタート。2025年4月には、元写真館を改修した「てとば美術館」をオープンし、カフェ・宿泊・ウェディングの各事業に加え、地域をアートで記録する活動にも取り組んでいる。



が地域でワークショップを開いており、その場で「地域の課題」について話し合う機会がありました。多くの人々が「交流の場が少ない」と口にしていたことを受け、私は「みんなで手と手を合わせて場を作ろう」という思いから、カフェ「te to ba(手と場)」の構想を膨らませました。

近隣の住民にも意見を聞きながら、カフェを地域の集いの場にすることを目指し、五島の食材を使った料



できることは自分の手でと思い、漆喰の壁などを塗りました



ショップ&カフェ te to ba(手と場)の外観



豊富な島の食材



島の食材を生かしたある日のランチメニュー



理を提供することにしました。例えば、五島の市場には都会のスーパーとは異なり、季節ごとに限られた食材が並びます。メニューは、その日手に入る旬の食材を中心に考え、自然の恵みをお客様に楽しんでもらうようにしています。

観光客の来店も多く、半分以上のお客様が観光で訪れる方々です。



ホステルta bi to〈旅人〉の玄関

食を通じて、五島の魅力を伝えることができる場になりました。

宿泊事業

「ta bi to〈旅人〉」の展開

カフェを始めた後、カフェからわずか30秒の場所に、また素敵な空き家との出会いがありました。その家はコンパクトで、住居というよりもゲストハウスに適している形状をしていました。そこで、私はゲストハウス「ta bi to〈旅人〉」を開くことを決め、準備を始めました。

出会ったのは2019年で、ちょうど法人化したタイミングでした。当初は2020年3月のオープンを予定していましたが、コロナ禍の影響でオープンを8月まで延期することになりました。それでも、ta bi to〈旅人〉は私にとって「世界中の人々が訪れ、五島での時間を楽しんでほしい」という思いを込めた場所であり、今では観光客にとって富江に



宿のすぐ目の前に広がる漁港



朝の富江商店街の風景

滞在することができるとして、滞ります。

宿泊客が増えることで、日帰りで味わえない五島の夜の居酒屋や朝市など、地元の生活に触れる機会も増えました。今では、多くの方々が「会いに来てくれる場所」として、ta bi to〈旅人〉は五島の魅力をさらに広める役割を果たしています。

五島ウェディングプロジェクト

五島の自然や文化を活かした「自由な結婚式」を提案するオリジナルウェディングを手掛けています。

2019年にte to ba〈手と場〉が軌道に乗ったタイミングで、本格的なウェディング事業をスタートさせました。最初の一步は、モデル挙式の実施でした。プロモーション用の写真を撮影し、「自由な結婚式」とは何かをイメージしてもらったのです。このモデル挙式を基に、ウェブサイトや



美しい海の目の前で祝福される新郎新婦



とても温かいお式となりました



コロナ禍で結婚式を挙げられなかったご夫婦とご家族

You Tubeで告知を開始したところ、徐々にお問い合わせが増えてきました。

しかし、2020年にコロナ禍が訪れ、最初の2件の挙式を終えた後、しばらくは島外からのお客様の結婚式が中止となりました。その間、私たちは地道にSNSを活用した発信を続けました。特にInstagram & You Tubeを使って、私たちが提供する「自由な結婚式」の魅力を少しずつ伝えました。

やがて、コロナ禍ならではの小規模な「家族だけの結婚式」へのお問い合わせが増えました。ハワイ挙式を計画していたカップルや、結婚したけれど式を挙げられなかった方々が、五島の雄大な自然と美味しい食事を堪能しながら少人数での挙式を希望されるようになりました。現在では、家族や友人を交えた様々なスタイルの結婚式をプロデュースしています。

teto ba(手と場)のオリジナル五島ウェディングでは、食材、引き



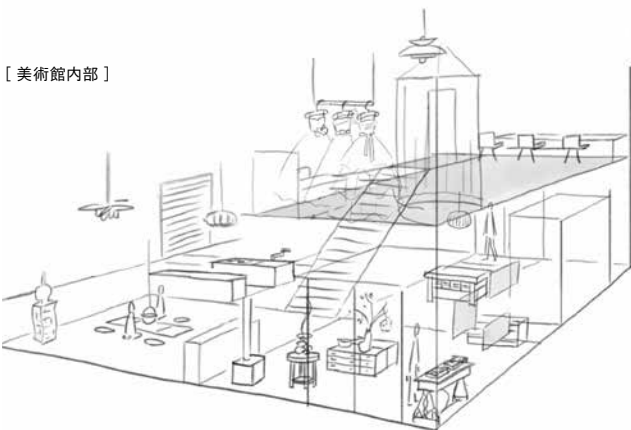
「てとば美術館」に改修する前の元写真館だった建物

出物、スタッフなど、可能な限り五島産にこだわっています。結婚式は多くの人が関わり、島の経済的にも重要なイベントになると思っています。この晴れの日を通じて、五島を訪れるお客様には五島の魅力を体験してもらい、再び新しい家族と共に来島していただけることを目指しています。実際に挙式を挙げたカップルが、お子さんを連れて再訪してください。ことも増えてきました。さらに、結婚

〔美術館外観〕



〔美術館内部〕



2階建てなので、2階はウェディングドレスのレンタルスペースに

新たなチャレンジ アートギャラリーをオープン

式に関わるスタッフや地元業者とも密に連携し、地域のビジネス機会を創出できるよう努めています。

te to ba(手と場)では、五島

に「住み続けられる島」を作ること为目标に、楽しく持続可能な経済活動を展開しています。その中で、現在

行なっているプロジェクトが「アートギャラリー」の設立です。数年前に譲り受けた元写真館の建物をどのように活用するか悩んでいたところ、島の文化的格差を埋めたいという思いが生まれ、ギャラリーの構想が膨らみました。

五島には、故山本二三先生(※)の美術館のように一部の作家を中心とした私的な美術館はありますが、幅広い作家の作品を展示する場所

はありません。また、島には映画館もなく、テレビCMも少ないため、特に子どもたちが都市部の子どもたちと比べて文化的な体験を得る機会が限られているのが現状です。この文化的な格差をどうにかして埋めたいという思いから、ギャラリーを通じて島内外の人々に豊かな文化体験を提供したいと考えました。



te to ba(手と場)で行った島外のアーティストを招いたワークショップ



そうして、2025年4月、「五島の記憶を、アートで記録する」をコンセプトに「てとば美術館」をオープンしました。

(※) 故山本二三先生：五島市出身のアニメーション映画・美術家。代表作に『天空の城ラピュタ』、『火垂るの墓』、『もののけ姫』、『時をかける少女』など多数。

このギャラリーでは、島外のアーティストを招き、アーティストインレジデンスとして五島をテーマに作品を制作してもらいます。また、既存の作品を持ち込んでもらい、企画展や島の人たち向けのワークショップも順次開催する予定です。観光客にとっても、五島を表現したアート作品に触れることで、観光以上の特別な体験を提供できる場を目指しています。

五島での生活を通じて 学んだこと・今後の展望

私がte to ba(手と場)を通じて展開している様々な事業は、



この子たちが帰ってきたいと思えるよう、カッコいい大人になりたいと思います



te to ba(手と場)でお世話になっている米農家さんと一緒に田植え体験をした時の様子

全て「住み続けられる島をつくる」という一つの目標に基づいています。五島の素晴らしい自然や食、人々のつながりを深く感じ、この場所から離れたくないと思うようになりました。私たちが目指すのは、ここで生まれ育った子どもたちがいつか島に戻ってきたいと思えるような環境を作ることです。

福江島には高校までしかなく、多くの子どもたちは進学のために一度島を出る必要があります。それ自体は悪いことではありませんが、子どもたちが「島には何もない」という劣等感を持つてしまうのは問題です。大人たちがそうした言葉を使い続けることで、子どもたちも故郷に誇りを持つてなくなってしまう。私たちは、この島が衰退してしまう危機感を持っています。

島の子どもたちにとって、映画館や文化施設が少ないことは、いわゆる「体験格差」に繋がります。この格差は将来の学力や生活水準にも影響するという社会的な課題で

す。そこで、島内でも豊かな文化体験を提供できる仕組みを作ることが重要です。

おわりに

私たちの活動は一步一步小さなものかもしれませんが、確実に未来を変える力があると信じています。いつかこの島が、子どもたちや大人たちにとっても豊かで、誇りを持てる「何でもある島」になるよう、これからも活動を続けていきます。



手と手をあわせて場をつくるte to ba(手と場)。今後も子どもたちが帰ってきたいと思える場をつくっていきます

みんなの銀行の特徴

初回特典コード※を使って口座開設すると、**現金500円**がもらえる！



アプリをダウンロード

アプリストア (App Store / Google Play) からみんなの銀行アプリをダウンロード。

情報入力&本人確認

必要情報を入力した後、本人確認を行います。本人確認書類をご準備ください。

初回特典コードを入力

忘れずに紹介コード画面で初回特典コード「**HAWKSmng**」を入力してください。

口座開設完了

本人確認など完了後、パスワードなどを設定すれば口座開設は完了です。

※初回特典コード「HAWKSmng」の有効期限は2025年8月31日(日)14:59です。初回特典コードとは、はじめての口座開設で特典が受け取れるコードです。口座開設手続きにおける初回ログイン後に入力することで、口座開設特典の500円を受け取ることができます。特典額は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。口座開設後に、初回特典コードを入力することはできません。初回特典コードを初回ログイン後、お手続き最後のステップ「紹介コード入力画面」でご入力いただけます。

プレミアムサービス

プレミアムサービスに加入すると、便利なサービスがお得に使える！



プレミアムサービスは月額600円(税込)

**はじめてご加入の方は
6ヶ月間無料！**

※金利は年利率です。利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。上記の金利は市場金利情勢などにより変更になる場合がございます。上記預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。金利についての詳細は、ウェブサイト(<https://www.minna-no-ginko.com/rates-and-fees/>)をご確認ください。
※プレミアムサービスについての詳細は、ウェブサイト(<https://www.minna-no-ginko.com/premium-service/>)をご確認ください。

	プレミアム会員	プレミアム会員以外
サービス利用料	月額600円(税込)	0円
貯蓄預金金利※	0.57% (税引後0.454%)	0.37% (税引後0.294%)
他行宛振込手数料	月10回まで無料	200円/回(税込)
ATM出金手数料	月10回まで無料	110円/回(税込)
デビットカード キャッシュバック率	1.0%	0.2%

プレミアムサービス申込方法



マイページへ移動

Wallet画面から、右上の人型アイコンをタップ



Premiumを申し込む

マイページ画面内のPremiumをタップ
画面案内に従い、申し込み (初回入会から6ヶ月間は月額無料)

ホークス応援Boxへの入金方法



貯蓄預金 (Saving・Box) へ移動

Walletや他のBoxから「ホークス」を含む名前を設定いただいた応援Boxにドロップ

プレミアム会員なら
貯蓄預金金利

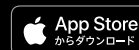
0.57%

税引後0.454%



Minna no Ginko

みんなの銀行アプリはこちらから



〈本キャンペーンの対象外となる場合〉

- ・特典の獲得までに当行預金口座を解約された場合
- ・当行普通預金規定、その他各種利用規約に違反した場合、またはその恐れがあると当行が判断した場合
- ・口座の取引状況等により、不正利用の恐れがあると当行が判断した場合
- ・末尾記載の「反社会的勢力でないことの表明・確約」に違反したことが判明した場合
- ・その他、特典をプレゼントすることが適切でない場合と当行が判断した場合

※口座開設には審査があり、開設できない場合があります。また審査によっては、即日開設できない場合がございます。※当行で口座開設が可能な方は、個人、15歳以上、日本国籍、国内居住者に限ります。また、すでに当行に口座をお持ちの方はお申込みできません。※当行へ届出する電話番号は、他のお客様が当行へ届出済みのものでなく、当行アプリ搭載スマートフォンで受信可能な番号を登録してください。※みんなの銀行アプリに初めてログインした際の「紹介コード入力」画面で「初回特典コード」を入力してください。口座開設完了後に「初回特典コード」を入力することはできません。※キャッシュカードは発行しません。スマートフォン上にQRコードを表示し、セブン銀行ATMで現金入出金ができます。※普通預金と同時に貯蓄預金を開設します。解約の際も、普通預金と貯蓄預金は同時に解約します。※口座開設と同時にバーチャルデビットカードが発行されます。審査結果によってはご利用いただけない場合もございます。※セキュリティ上の観点から、ご利用いただけるスマートフォン端末は1台のみです。複数端末での同時使用はできません。また、他のお客様が届出済みの電話番号と同一の番号を登録することはできません。※公共料金、クレジットカード代金などの口座振替は、現時点ではお取り扱いしていません。※掲載しているアプリ画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

Ⅲ スマホ完結型デジタルバンク みんなの銀行

PS！ホークス応援キャンペーン

3ヶ月間の貯蓄預金金利

年 **1.00%** 税引後 0.796%



Ⅲ Minna no Ginko | SoftBank HAWKS ©SBH

キャンペーン期間：2025年8月31日(日)まで

豪華グッズ・チケットも当たるキャンペーン開催中！

特典1

口座開設＋応援BOXの作成
＋1万円以上入金で

**ユニフォームや
チケットが当たる！**



さらに！

特典2

特典1の条件達成後

初回半年間無料の
プレミアムサービス加入で

貯蓄預金金利年1.00%
(税引後 0.796%)

抽選で5名様に

サイン入りユニフォームプレゼント

■ 対象者

キャンペーン期間中に新規口座開設いただいた方
※パートナー支店を除く

■ 特典内容・獲得条件

特典内容	獲得条件
特典1： ユニフォーム＆チケットが当たる A賞：終盤戦チケット・ユニフォーム(ペア) 8組 B賞：ビジターチケット(ペア) 10組 ※いずれかにエントリー	期間中にエントリーフォームから応募し、「ホークス」を含む名前を設定いただいた応援Box(貯蓄預金口座)に1万円以上入金・2025年8月31日23:59まで残高を維持していること
特典2： 貯蓄預金金利3ヶ月間年1.00%(税引後0.796%)&サイン入りユニフォームプレゼント	エントリー後、応援Boxの作成&1万円以上の入金後にプレミアムサービスへ加入すること

■ 特典獲得時期・方法

ユニフォーム・チケット：エントリー期間終了後、みんなの銀行へお届けいただいているご住所へ賞品を発送いたします。

特別金利適用：プレミアムサービス加入日に合わせて下記の通り特別金利を適用いたします。

条件達成日 (プレミアム加入日)	金利適用開始日	特別金利終了日
2025年7月1日(火)～7月31日(木)	2025年8月15日(金)	2025年11月15日(土)
2025年8月1日(金)～8月31日(日)	2025年9月15日(月)	2025年12月15日(月)

■ キャンペーン詳細

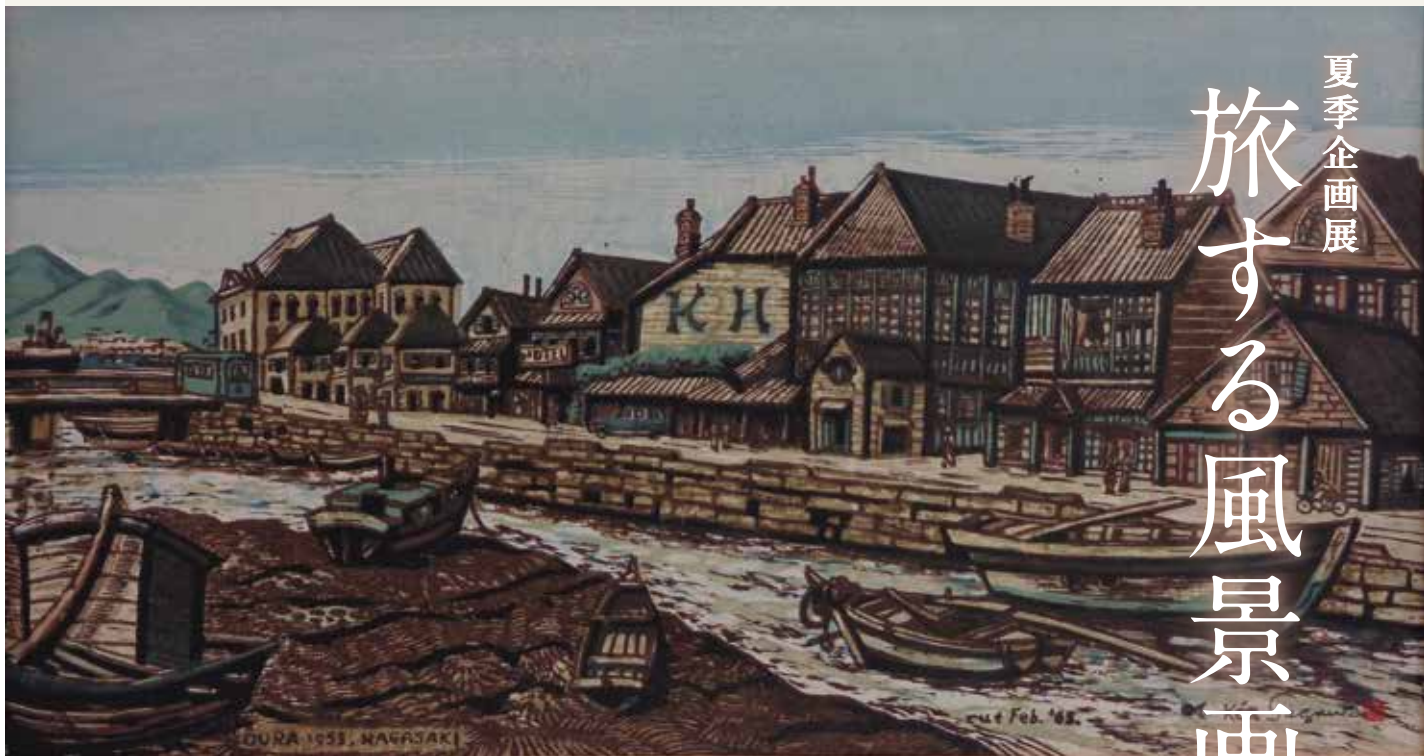
キャンペーン詳細は右記よりご確認ください。



※本キャンペーンは予告なく変更・延長する場合があります。当行(みんなの銀行)の他行宛(福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・福岡中央銀行含む)振込限度額は500万円/日です。
 ※金利は年利率であり、小数点第三位以下切捨てで表示しています。利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。ただし、上記の基準金利は、金融情勢等により予告なく変更する場合があります。
 ※貯蓄預金口座の残高(Saving・Boxの合計)に特別金利が適用されます。普通預金口座の残高には特別金利は適用されません。記載の金利年1.00%はプレミアム会員金利0.57%に0.43%を上乗せした金利となります(税引後0.796%、小数点第三位以下切捨てで表示、2025年7月4日時点)。ただし、基準金利が変動した場合、本キャンペーンの上乗せ金利含む合計が1.00%(税引後0.796%)となるように調整いたします。
 ※上記預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。金利についての詳細は、ウェブサイト(<https://www.minna-no-ginko.com/rates-and-fees/>)をご確認ください。

夏季企画展

旅する風景画



田川 憲《うらぶれた居留地》1965年制作 木版画

長崎ゆかりの版画家・田川憲は、唐寺や居留地、高台から望む港など異国情緒ある長崎の風景を多数、描きました。1965年制作の《うらぶれた居留地》は、長崎市内の大浦川沿いの風景を主題としています。通りに並ぶ木造の建物にはHOTELの看板があり、車や人の姿も確認できます。画面の前景を占める川には木造の船が並び、川を少し下ったところへ弁天橋が架かっています。そのすぐ傍を路面電車が走り、画面の左奥には港に浮かぶ大きな船も見えます。ゆったりとした時間の流れを感じさせる落ち着いた作品には、古き良き長崎の風景を慈しむ田川の想いが込められています。本作は、現在開催中の夏季企画展「旅する風景画」にて公開しています。本展では他にも、油彩画、日本画などによる風景画10点を季節展示室、絵画展示室1、ホワイエにおいて公開中です。

また、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

田川 憲(たがわ・けん) 1906～1967。長崎市生まれ。高校卒業後に洋画家を志して上京、恩地孝四郎に出会い創作版画に転向。1933年に帰郷し「詩と版画の会」を結成、版画誌刊行や講習会開催など長崎での創作版画の普及に尽力。戦時中は従軍画家として中国へ渡り、戦後は再び長崎を拠点に洋館や唐寺などが残る長崎の風景を数多く描き残した。2018年長崎県美術館にて回顧展開催。

開催中

2025
9/6
(土)

まで

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分